

しょうべいほりがわ

庄兵衛堀川・整備計画概要

流域面積 11.01km²
 流路延長 5.883km
 合流河川 隼人堀川
 現況河床勾配 1/5,000
 関係市町村 久喜市、白岡市

流域および河川の概要

- 庄兵衛堀川は、埼玉県久喜市（旧菖蒲町）にその源を発し、隼人堀川の8.1km付近の左岸に合流する一級河川である。
- 流域は、農業地域として発達した地域であったが、立地条件の良さから昭和35年頃より都市化へと移行し、道路の整備等と合わせて流域の宅地化が急激に進んでおり、かつての田園地帯から都市地域と変貌しつつあり、中小の出水でも湛水被害が発生している。

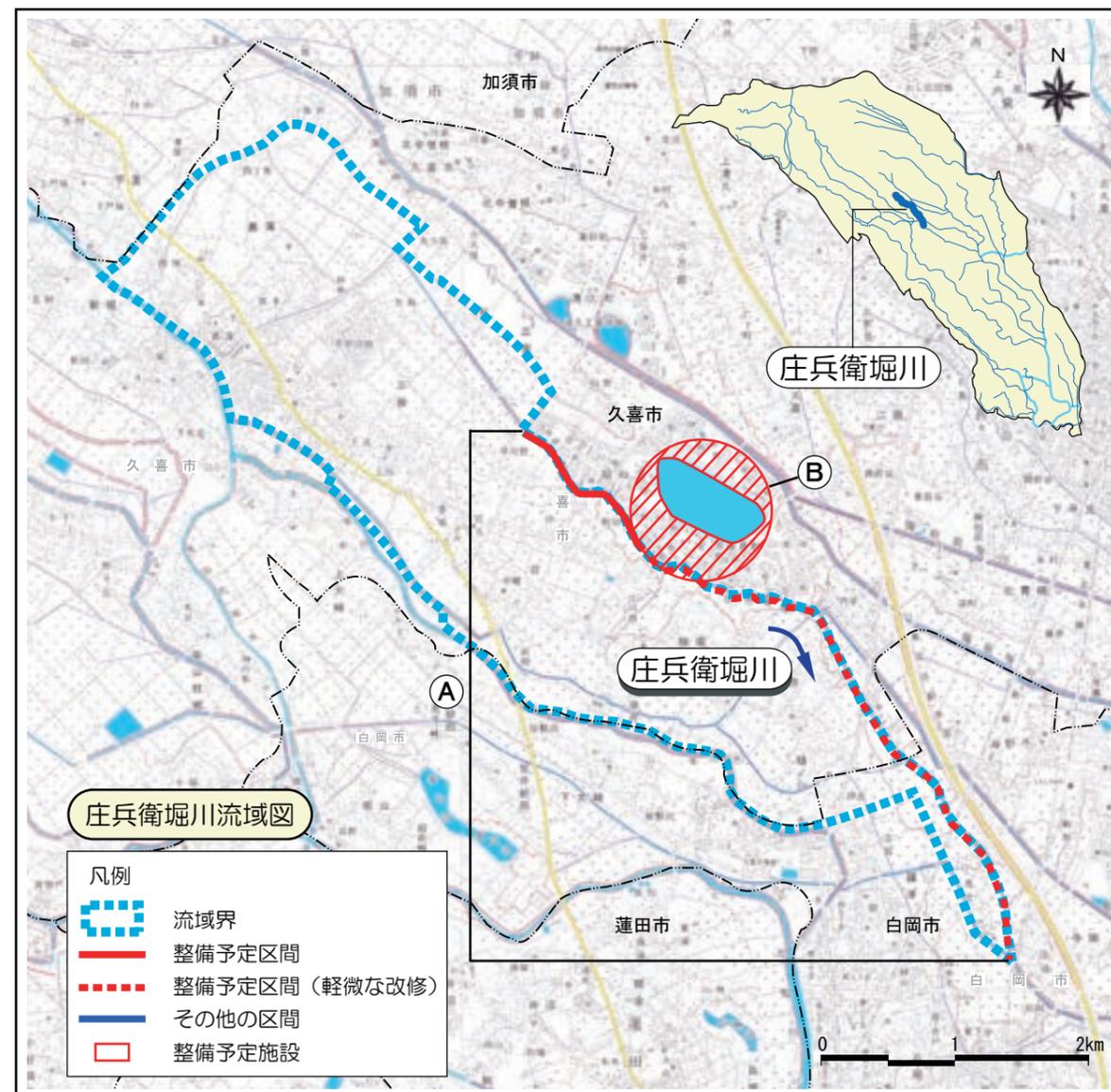
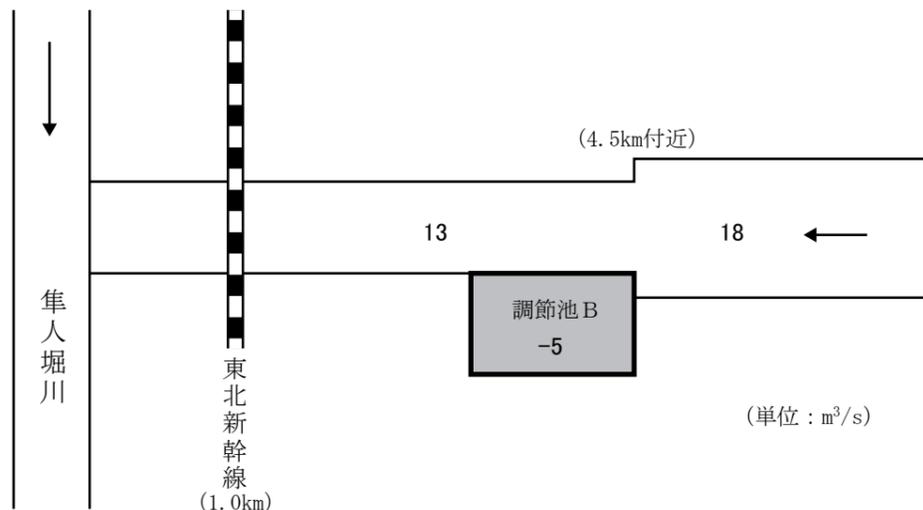
治水計画

- 庄兵衛堀川では、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間>（隼人堀川合流点0.00km）～（上流端5.88km）・・・・・・ A
- また、河道ピーク流量を低減させるため、導排水路を整備し、既存の調整池を調節池として活用する。
 <整備予定施設>（調節池）・・・・・・ B

整備上の留意点

- 護岸や調節池整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- 河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。

流量配分図



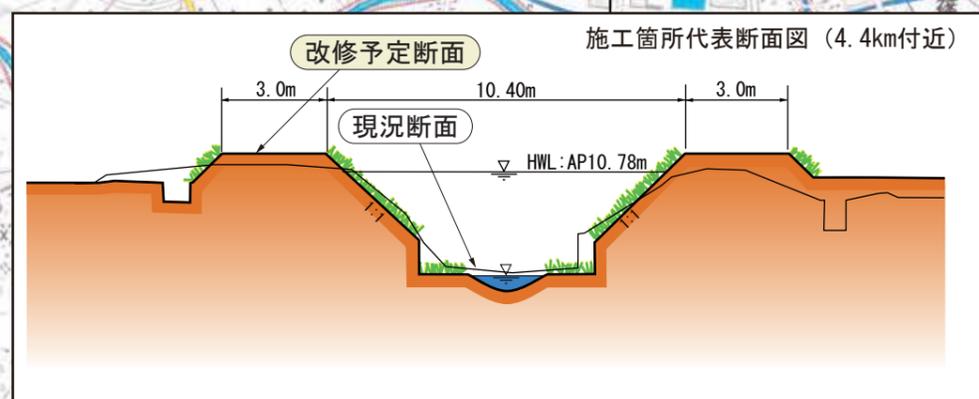
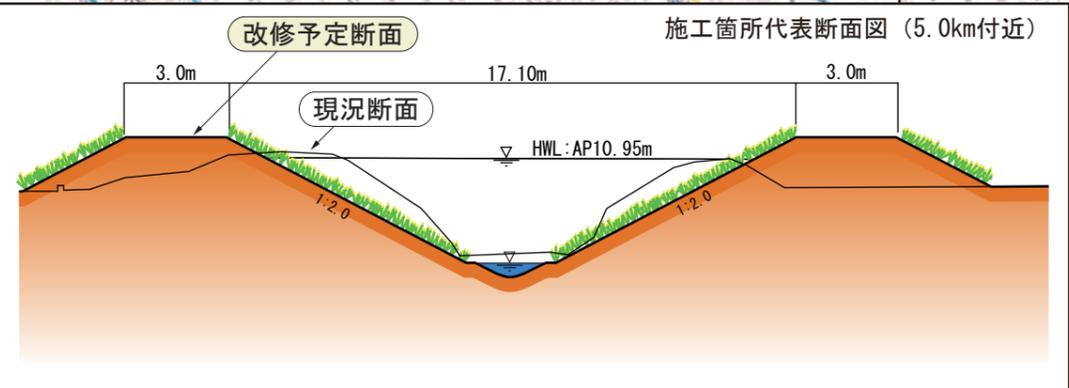
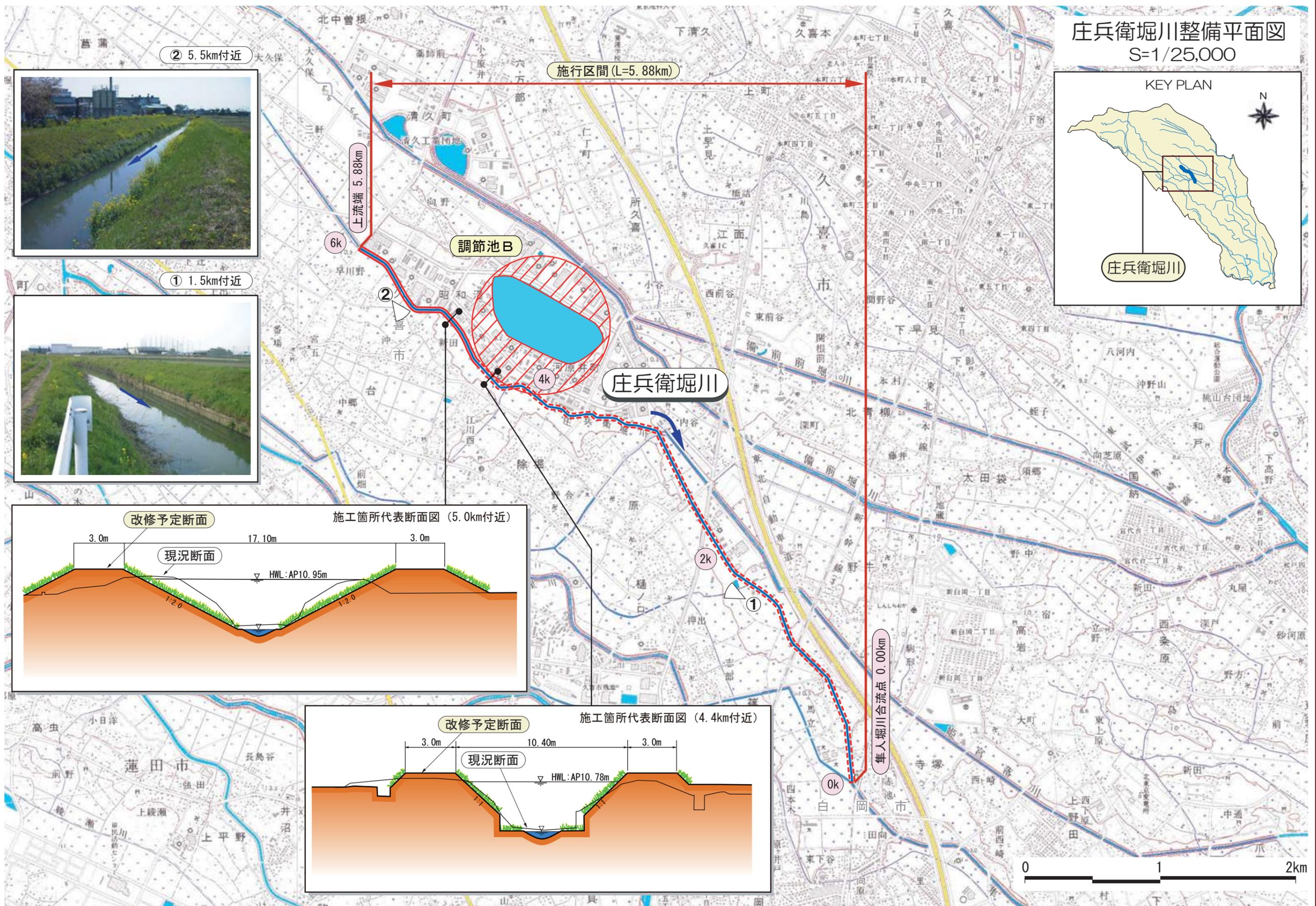
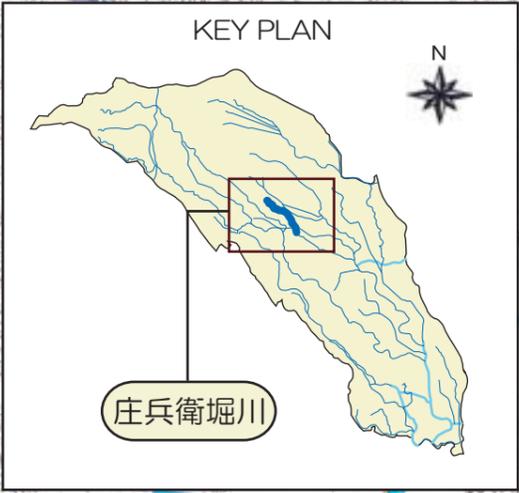
①庄兵衛堀川1km付近

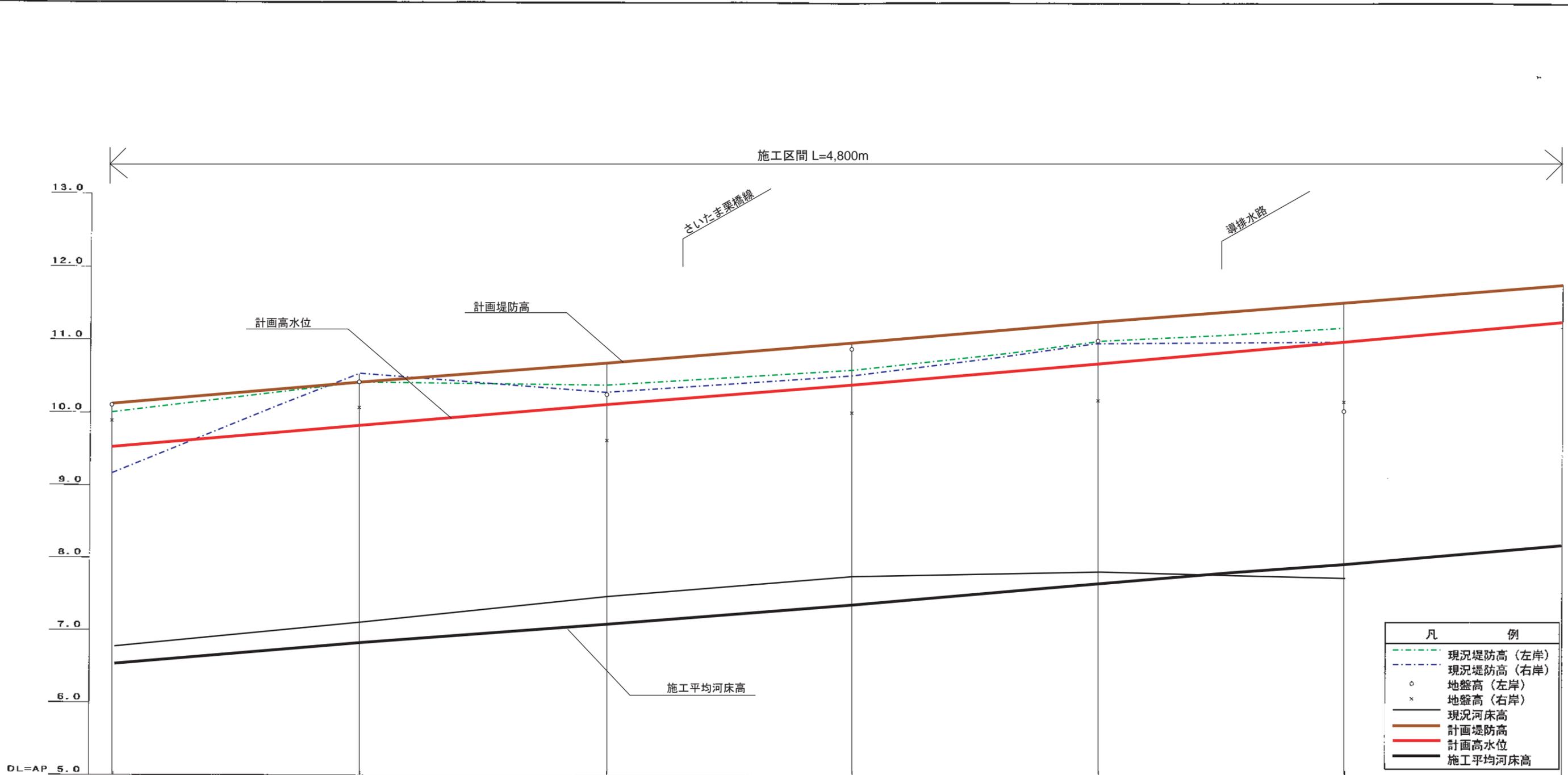


②庄兵衛堀川3km付近



庄兵衛堀川整備平面図
S=1/25,000





計 画 面	水面勾配	1/3,500						
	河床勾配	1/3,500						
	堤防高	10.12	10.41	10.70	10.98	11.27	11.55	11.81
	高水位	9.52	9.81	10.10	10.38	10.67	10.95	11.21
	施工平均河床高	6.52	6.81	7.10	7.38	7.67	7.95	8.21
追加距離	0.000k	1.000k	2.000k	3.000k	4.000k	5.000k	5.883k	

ひめみやおとしがわ

姫宮落川・整備計画概要

流域面積 12.90km²
 流路延長 10.690km
 合流河川 大落古利根川
 現況河床勾配 1/3,000~1/4,000
 関係市町村 久喜市、宮代町、白岡町

流域および河川の概要

- 姫宮落川は、埼玉県久喜市にその源を発し、大落古利根川17.4km付近の右岸に合流する一級河川である。
- 流域は、昭和30年当時では農地の割合が流域内の約80%を占める農業地域であったが、現在においては、流域の北東部を東武伊勢崎線、西部にJR東北線が走り、都心から40km圏にあるため、ベッドタウンとしての住宅地の開発、また、大学の設置等により市街化の著しい地域となっている。

治水計画

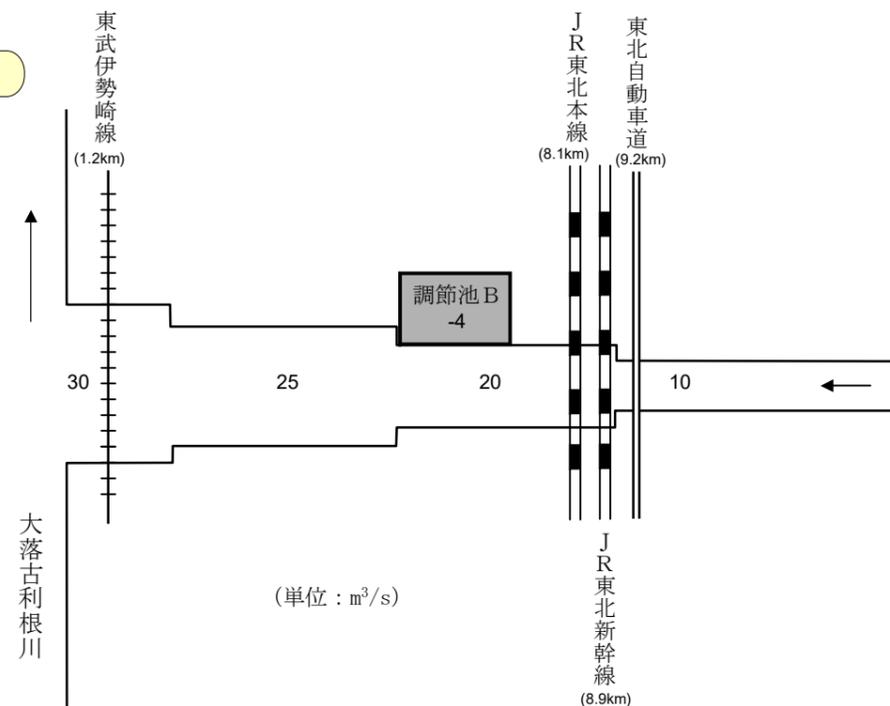
- 姫宮落川では、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (柚ノ木橋下流0.60km) ~ (上流端10.69km) A
- また、河道のピーク流量の低減を目的として、以下の施設を整備する。
 <整備予定施設> (調節池) B



整備上の留意点

- 護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- 河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- 落差工の設置にあたっては、魚類等の移動を妨げない構造とするよう努める。
- 姫宮落川の水辺には埼玉県のレッドデータブックに記載されているノウルシ、コウホネ、ナガボノシロワレモコウといった生育がみられる地域や、カワセミの生息地及び繁殖地となっている地域があるので、整備にあたっては十分配慮する。

流量配分図



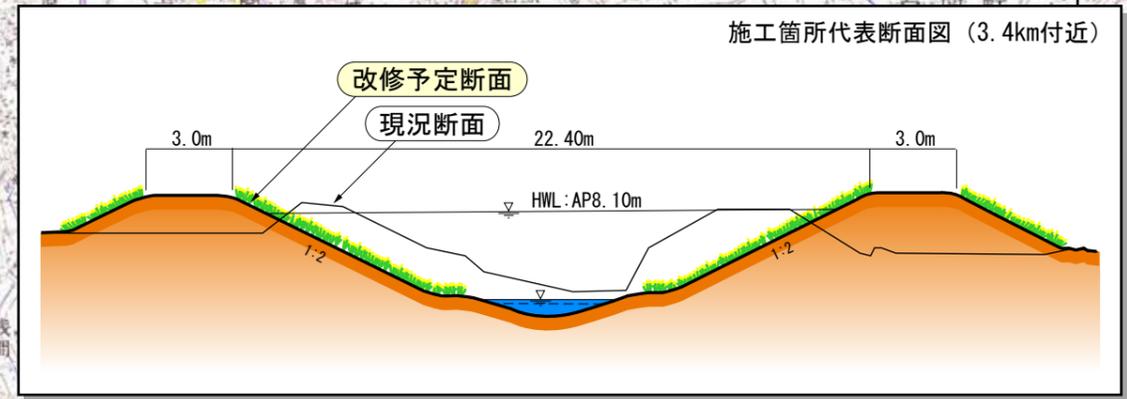
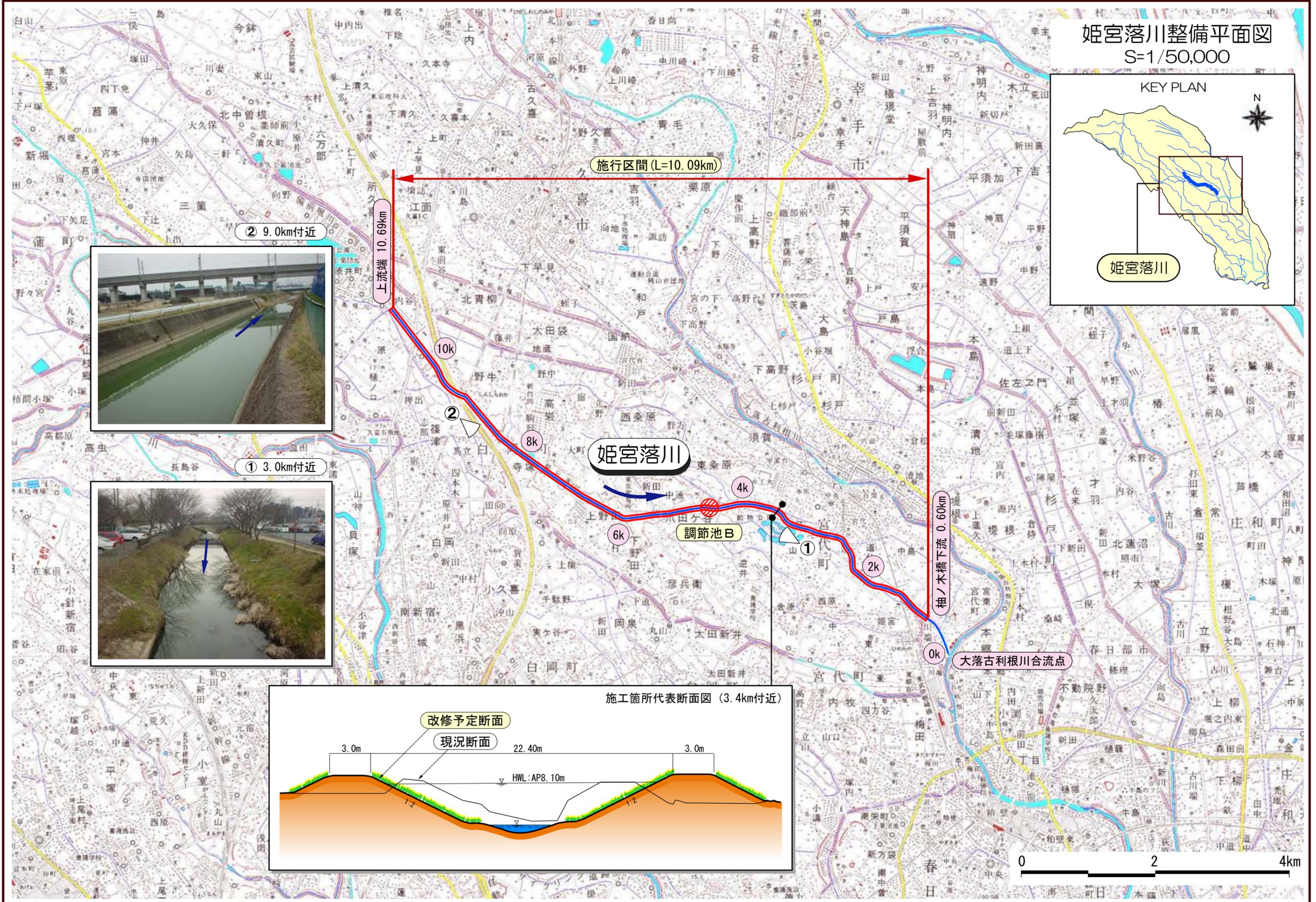
① 姫宮落川3km付近



② 姫宮落川8km付近

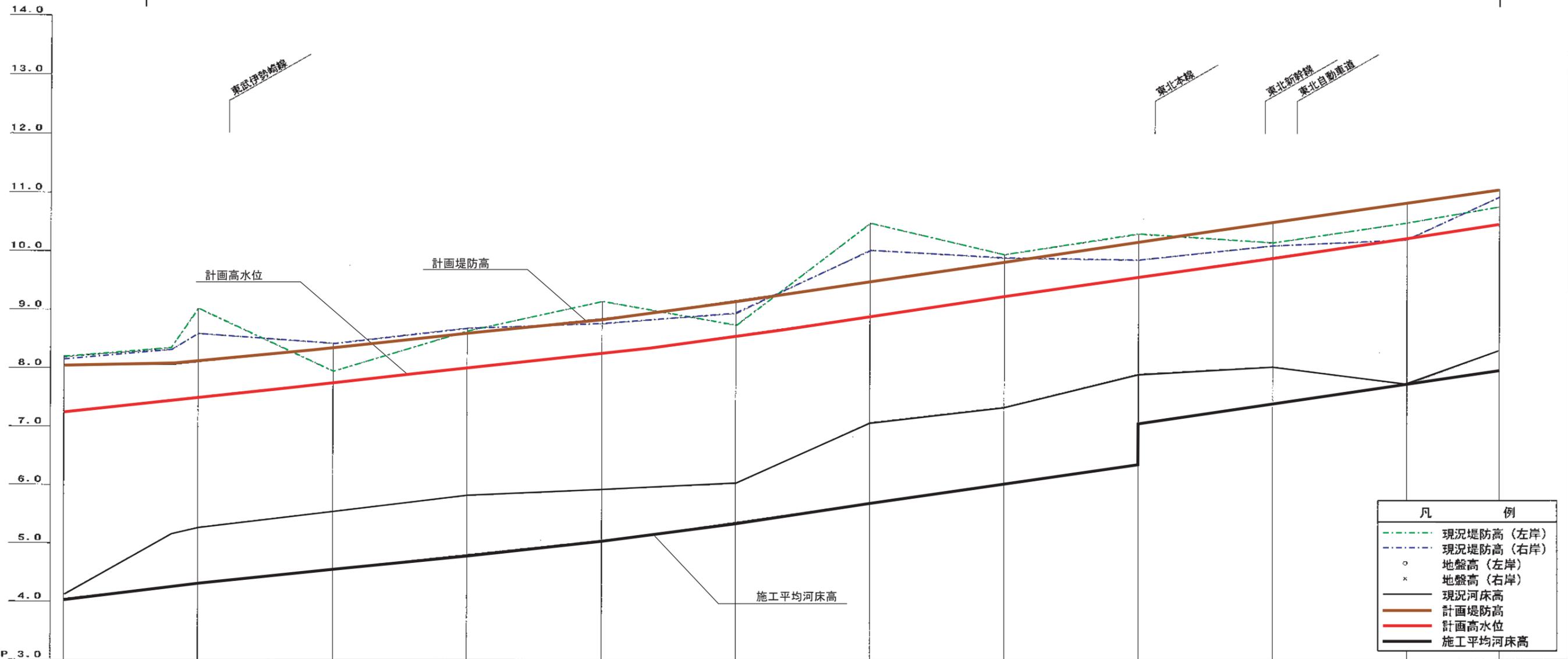


姫宮落川整備平面図
S=1/50,000



姫宮落川計画縦断面図

施工区間 L=10,090m



DL=AP 3.0

追加距離	計画		水面勾配		河床勾配	
	堤防高	高水位	水面勾配	河床勾配	堤防高	高水位
0.000k	8.05	7.25	1/4,000	1/4,000	8.05	4.05
0.800k	8.05	7.50				
1.000k	8.10	7.75				
2.000k	8.35	8.00				
3.000k	8.60	8.25				
4.000k	8.85	8.32				
4.300k	8.92	8.56				
5.000k	9.16	8.89				
6.000k	9.49	9.22				
7.000k	9.82	9.56	1/3,000	1/3,000		
8.000k	10.16	10.22				
9.000k	10.49	10.82				
10.000k	10.82	11.05				
10.000k	10.82	10.45				
10.000k	11.05					

びぜんほりがわ

流域面積 26.47km²
 流路延長 11,400km
 合流河川 大落古利根川
 現況河床勾配 1/2,500
 関係市町村 騎西町、川里町、菖蒲町、久喜市、宮代町、白岡町

流域および河川の概要

- 備前堀川は、埼玉県騎西町で大英寺落及び小荒田落を合わせてその源を発し、途中ハヶ村落、江面落川を合流し、大落古利根川24.6km付近の右岸に合流する一級河川である。
- 流域は、東武伊勢崎線、JR東北線、JR東北新幹線及び東北自動車道が横断し、久喜市に近接していることから市街地の拡大、東北自動車道久喜インターチェンジに近いことから工業団地等の開発が進展しつつある。

治水計画

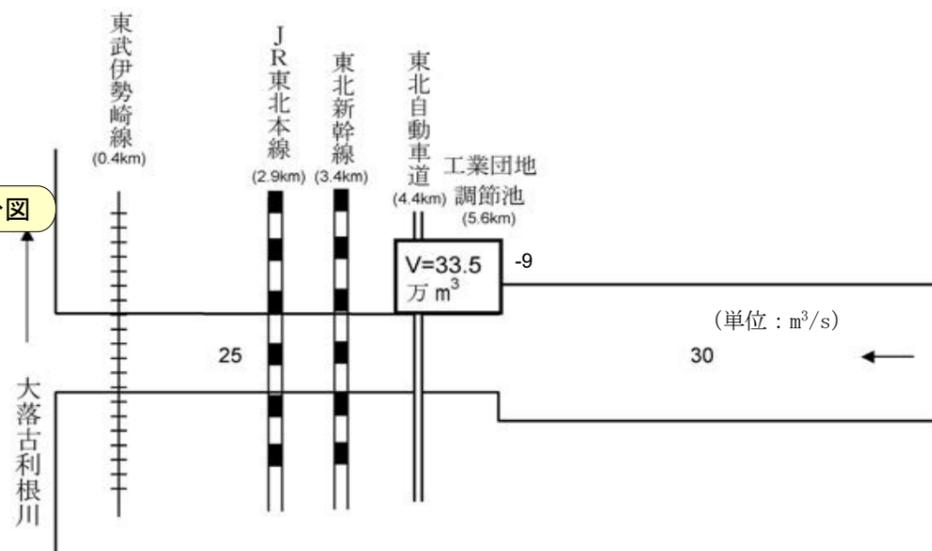
- 備前堀川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河床を下げるるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (大落古利根川合流点0.00km) ~ (上流端11.40km)A



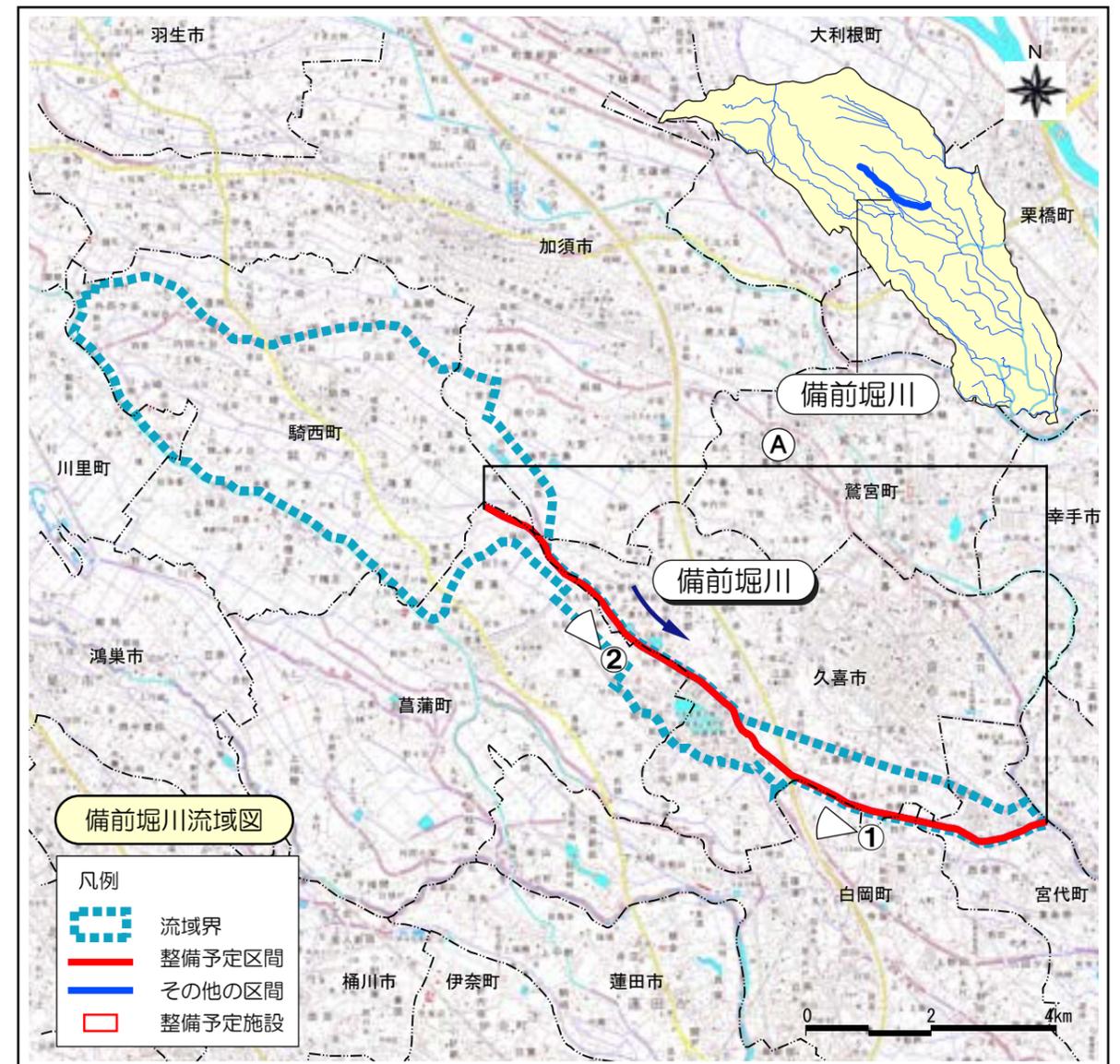
整備上の留意点

- 護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- 河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- 備前堀川の水辺には埼玉県のレッドデータブックに記載されているフジハカマ、ナガボノアカワレモコウ、サンショウモ、ミスワラビといった生育がみられる地域や、ジャコウアゲハの生息がみられる地域があるので、整備にあたっては十分配慮する。

流量配分図



備前堀川・整備計画概要



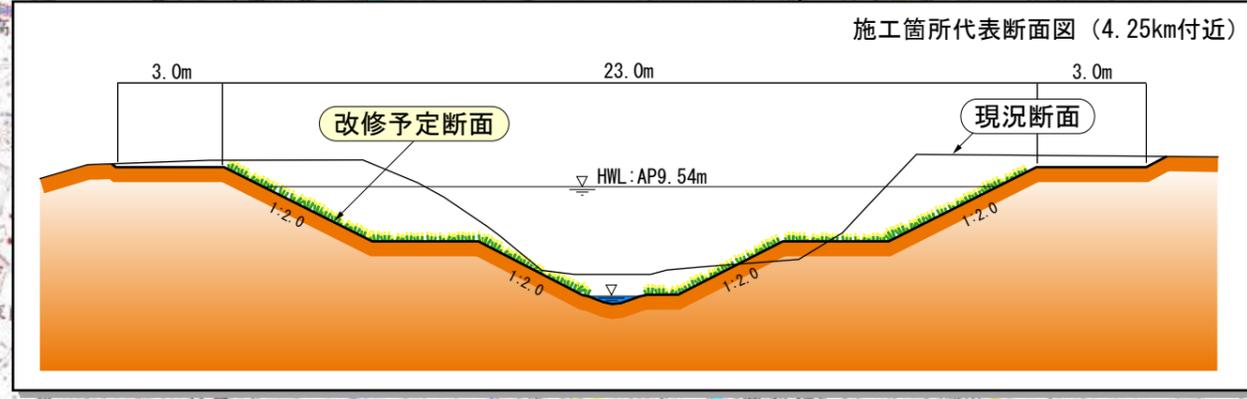
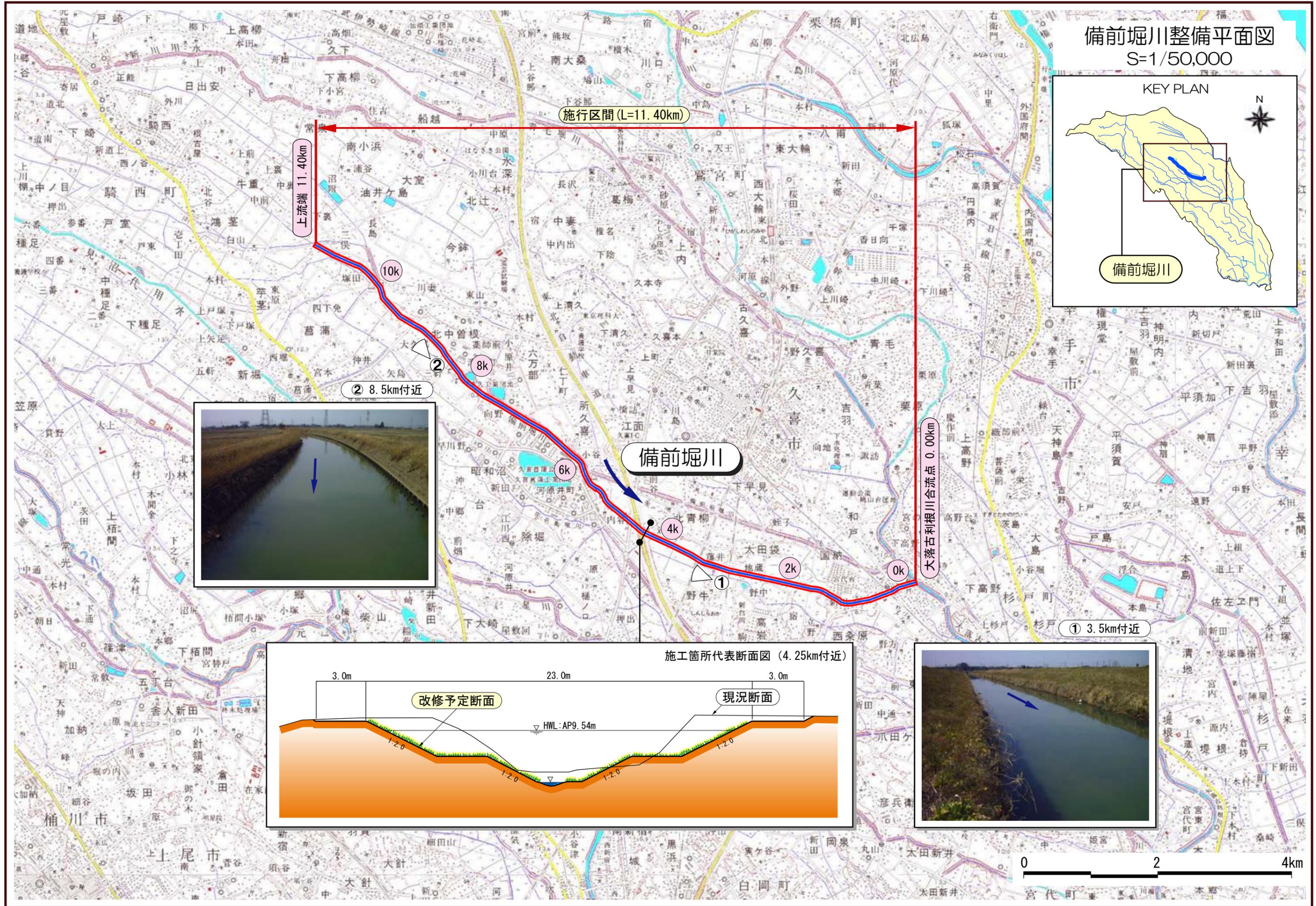
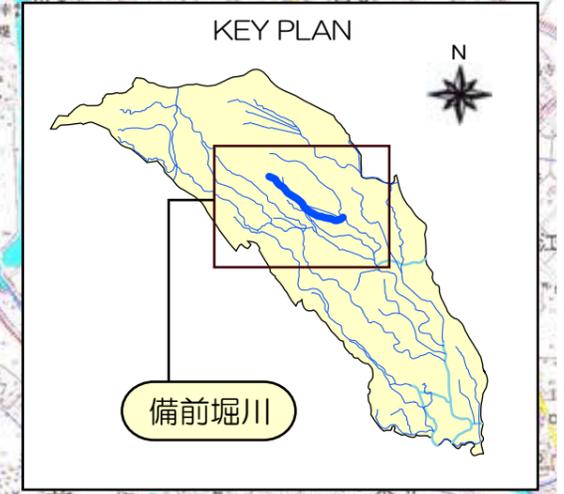
①備前堀川2.5km付近



②備前堀川8.0km付近

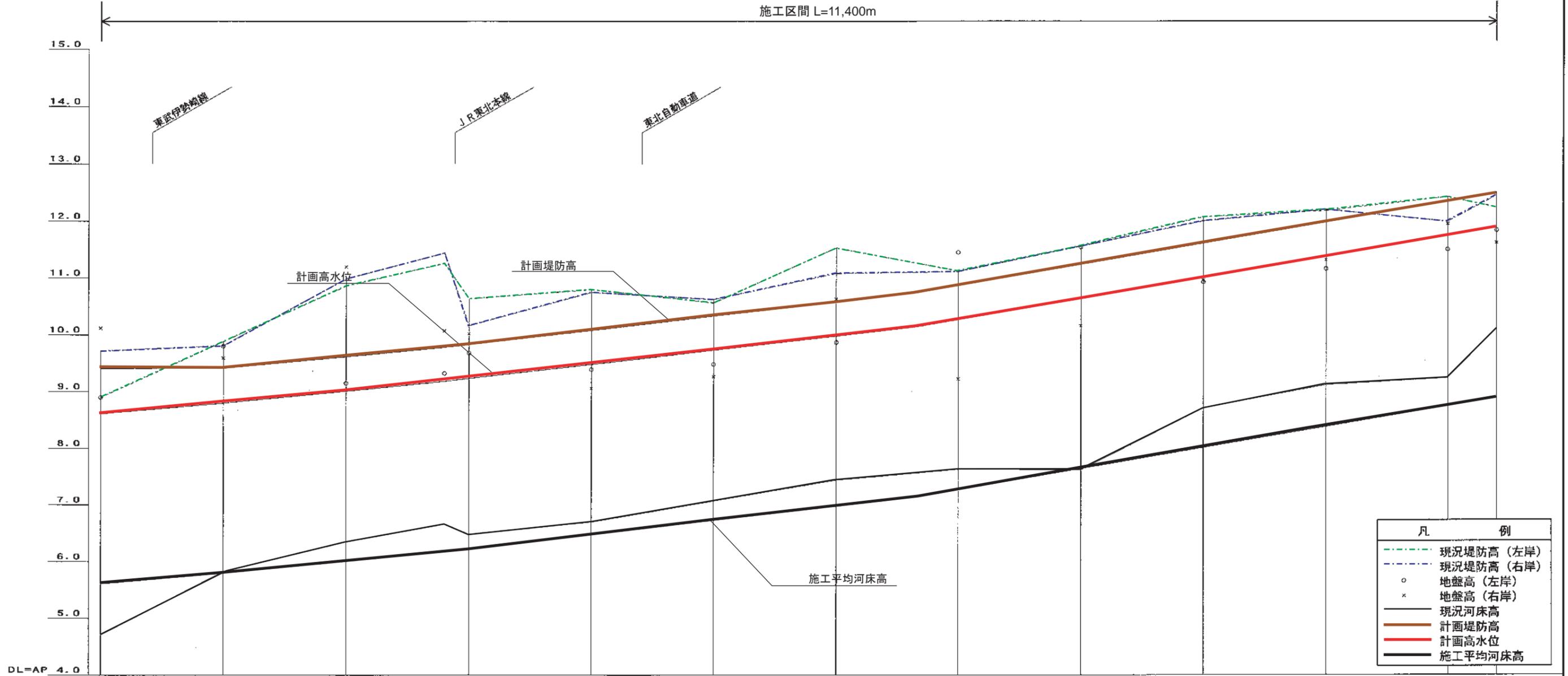


備前堀川整備平面図
S=1/50,000



備前堀川計画縦断図

施工区間 L=11,400m



面	水面勾配	1/5,400		1/4,700		1/4,000				1/2,700						
	河床勾配	1/5,400		1/4,700		1/4,000				1/2,700						
計	堤防高	9.41	9.41	9.61	9.78	9.83	10.08	10.33	10.58	10.75	10.87	11.24	11.61	11.98	12.35	12.50
	高水位	8.61	8.80	9.01	9.18	9.23	9.48	9.73	9.98	10.15	10.27	10.64	11.01	11.38	11.75	11.90
	施工平均河床高	5.61	5.80	6.01	6.18	6.23	6.48	6.73	6.98	7.15	7.27	7.64	8.01	8.38	8.75	8.90
追加距離	0.000k	1.000k	2.000k	2.800k	3.000k	4.000k	5.000k	6.000k	6.870k	7.000k	8.000k	9.000k	10.000k	11.000k	11.400k	

びぜんまえほりがわ

流域面積 14.50km²
 流路延長 7.820km
 合流河川 大落古利根川
 現況河床勾配 1/2,500
 関係市町村 加須市、久喜市、宮代町

流域および河川の概要

- 備前前堀川は、埼玉県加須市で五ヶ村落を合わせてその源を発し、途中磯沼落、仏供田落を合流し、大落古利根川25.0km付近の右岸右岸に合流する一級河川である。
- 流域は、東武伊勢崎線、JR東北線、JR東北新幹線及び東北自動車道が横断しており、久喜インターチェンジがあることから工業団地等の開発が発展しつつある。

治水計画

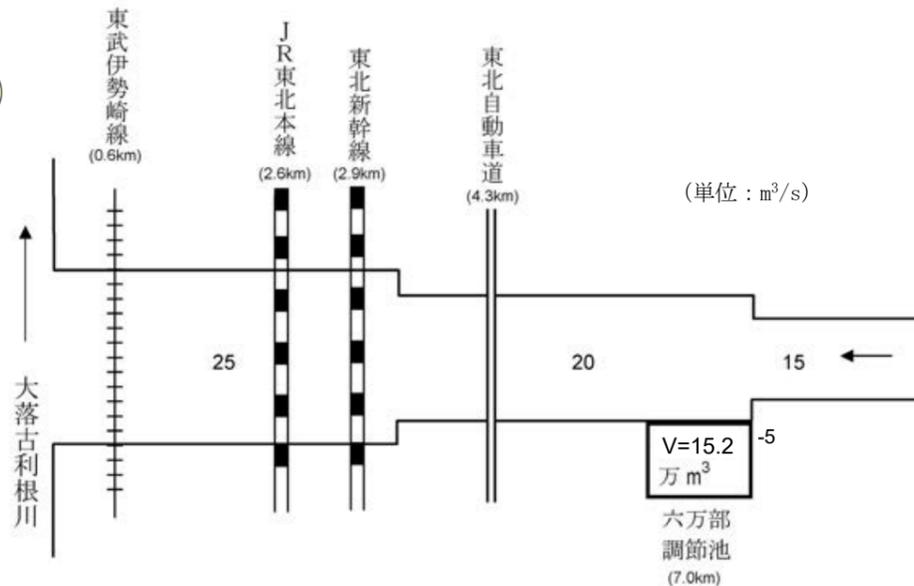
- 備前前堀川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河道を拡幅するとともに、河床の掘削及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (大落古利根川合流点0.00km) ~ (上流端7.82km) A



整備上の留意点

- 護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- 河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- 備前前堀川の水辺には埼玉県のレッドデータブックに記載されているフジバカマ、ナガボノアカワレモコウ、サンショウモ、ミズワラビといった生育がみられる地域や、ジャコウアゲハの生息がみられる地域があるので、整備にあたっては十分配慮する。

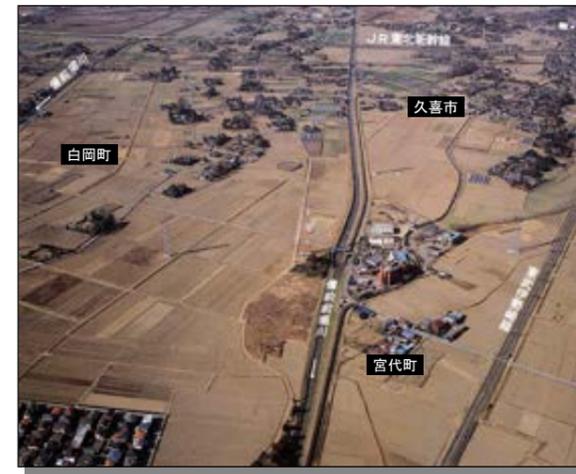
流量配分図



備前前堀川・整備計画概要



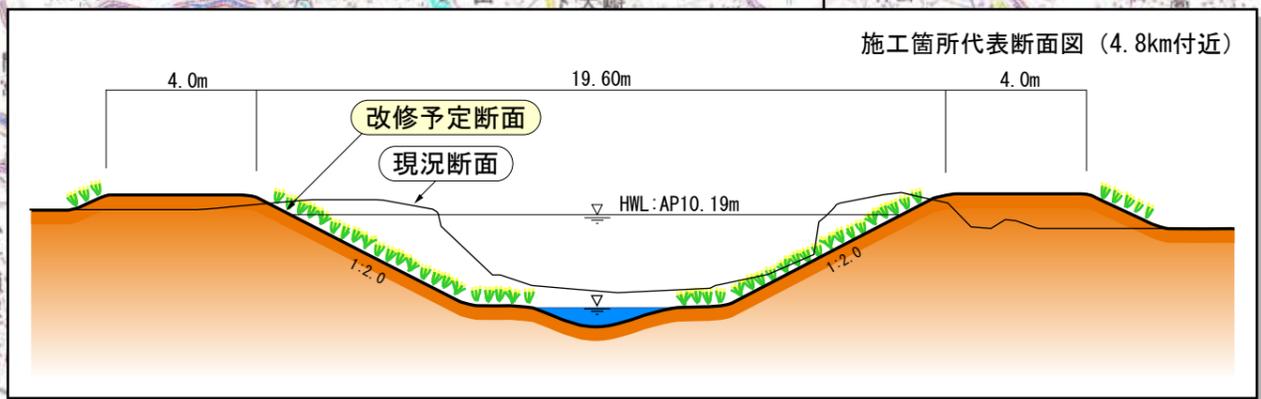
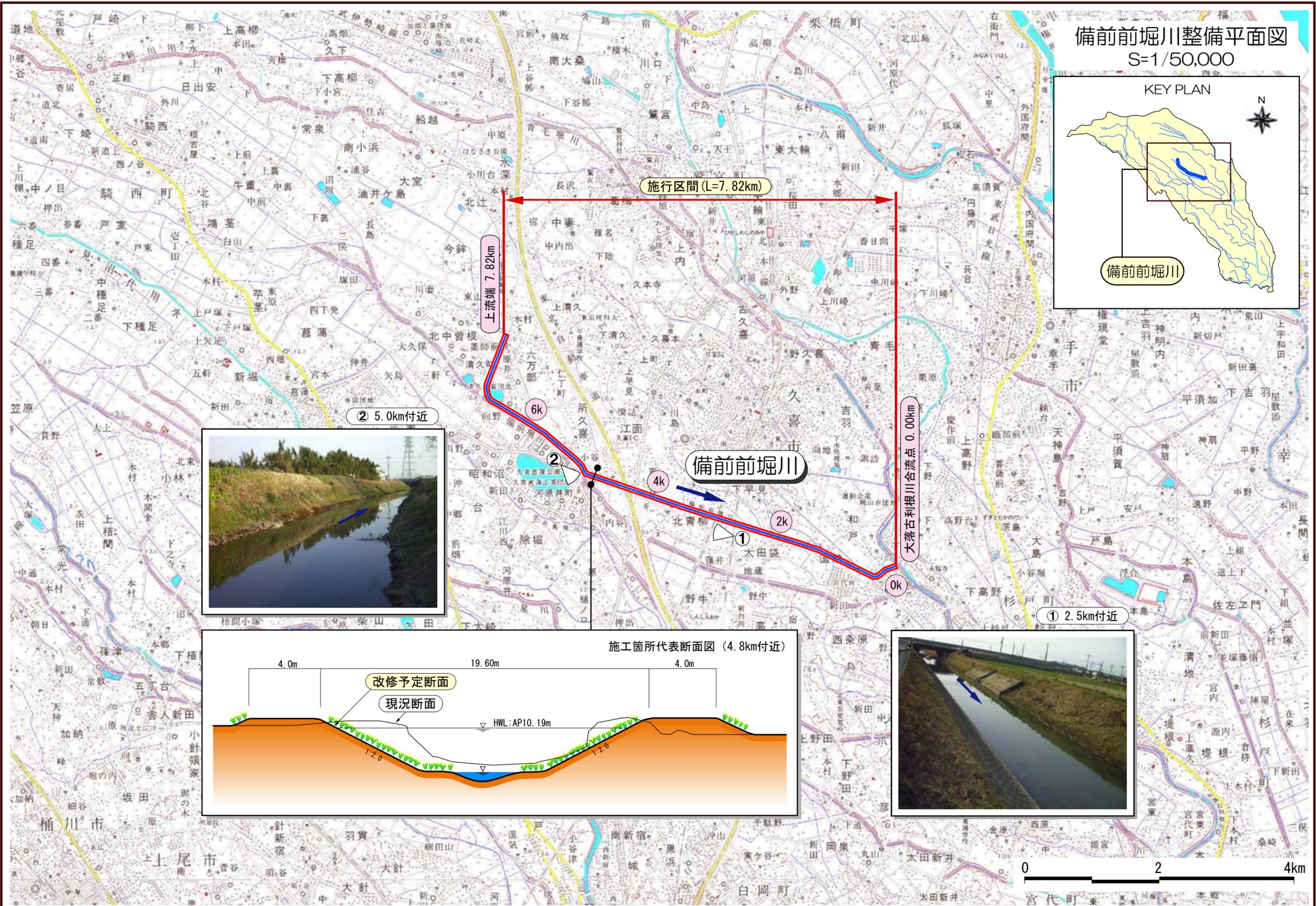
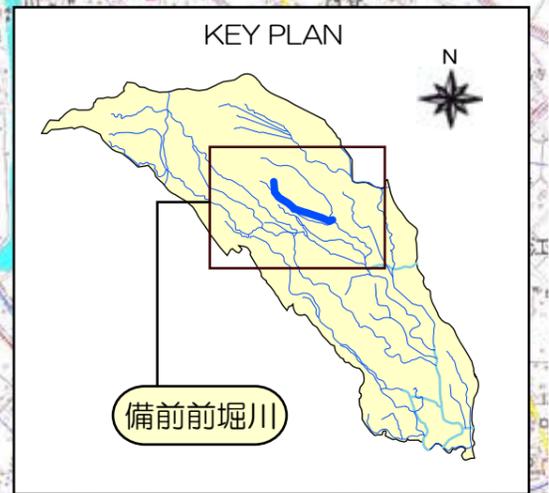
① 備前前堀川1.5km付近



② 備前前堀川6.0km付近

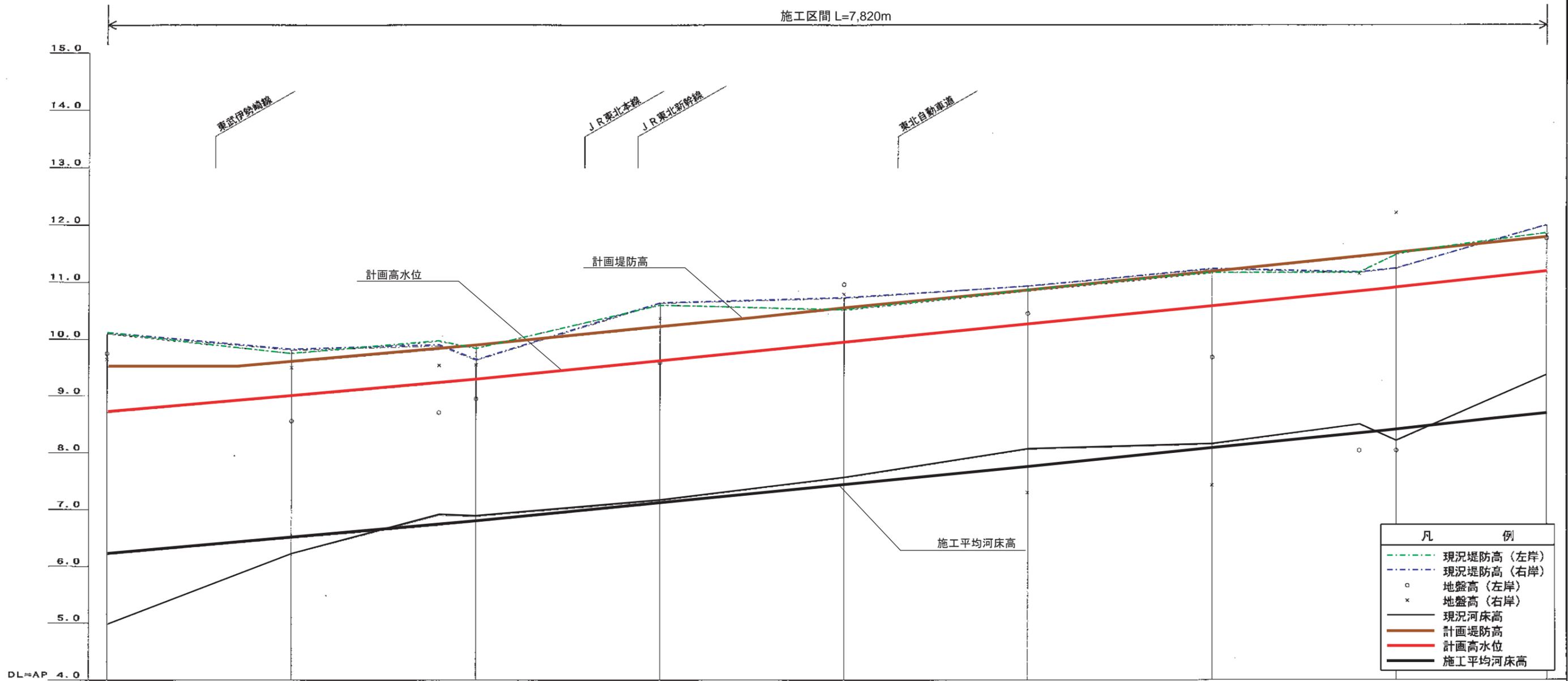


備前前堀川整備平面図
S=1/50,000



備前前堀川計画縦断面図

施工区間 L=7,820m



DL=AP 4.0

面	水面勾配	1/3,500				1/3,100		1/3,000					
	河床勾配	1/3,500				1/3,100		1/3,000					
計	堤防高	9.51	9.51	9.60	9.83	9.89	10.21	10.54	10.86	11.18	11.44	11.51	11.80
	高水位	8.71	9.00	9.23	9.29	9.61	9.94	10.26	10.58	10.84	10.91	11.20	
	施工平均河床高	6.21	6.50	6.73	6.79	7.11	7.44	7.76	8.08	8.34	8.41	8.70	
	追加距離	0.000k	0.700k	1.000k	1.800k	2.000k	3.000k	4.000k	5.000k	6.000k	6.800k	7.000k	7.820k

あおげほりがわ

青毛堀川・整備計画概要

流域面積 34.54km²
 流路延長 11,238km
 合流河川 大落古利根川
 現況河床勾配 1/4,000
 関係市町村 加須市、騎西町、久喜市、鷲宮町

流域および河川の概要

- 青毛堀川は、埼玉県加須市にその源を発し、途中鷲宮江川を合流し、大落古利根川26.6km付近の右岸に合流する一級河川である。
- 流域は、約半分が水田として利用されており、これらは自然の遊水地として大きな役割を果たしていたが、近年急激に都市化が進み、開発による流域の土地利用形態の変化に伴い流出形態も大幅に変化し、現在のままではその排水に関する青毛堀川の氾濫による被害の増大が予想される。

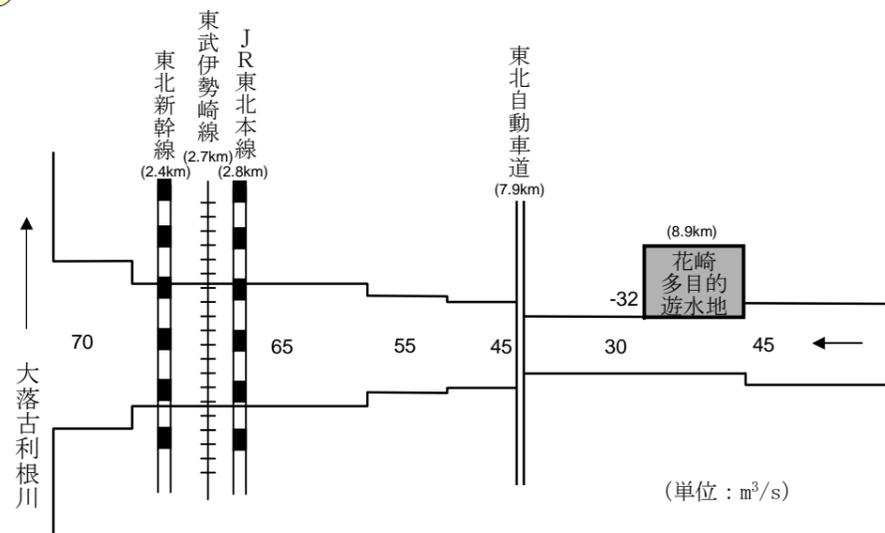
治水計画

- 青毛堀川では、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (喜橋下流1.56km) ~ (上流端11.24km) A
- また、河道のピーク流量の低減を目的として、以下の治水施設を整備する。
 <整備予定施設> (花崎多目的遊水地) B

整備上の留意点

- 護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- 河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- 調節池の整備にあたっては、広大なオープンスペースを活かし、「加須はなさき公園」の整備とあわせて、自然環境の再生や人々に安全と潤いのある生活環境を提供するなど、さまざまな機能を持たせ活用する。

流量配分図



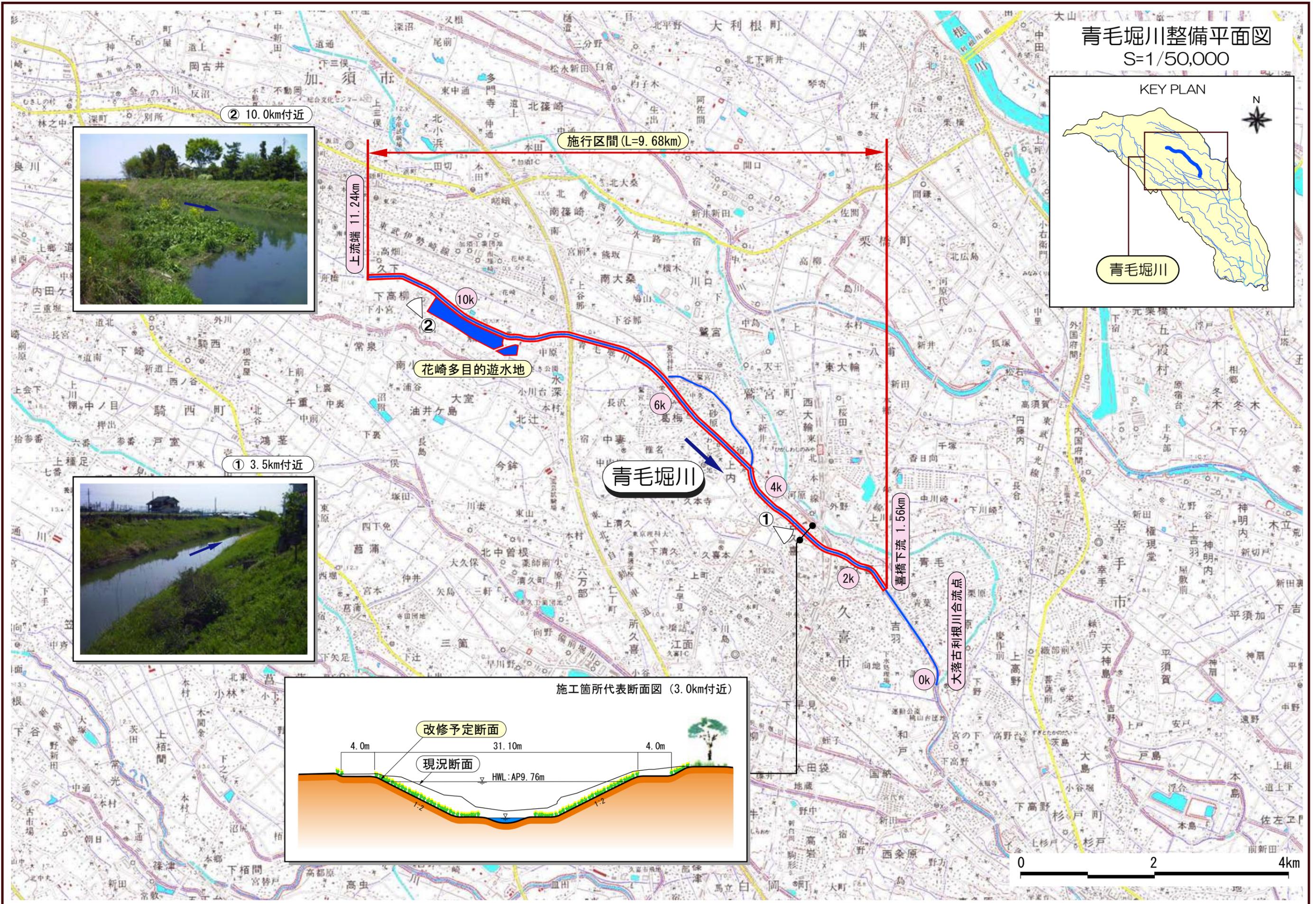
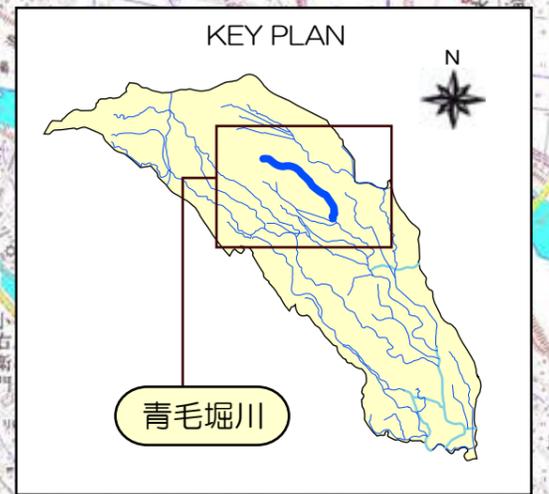
①青毛堀川2.5km付近



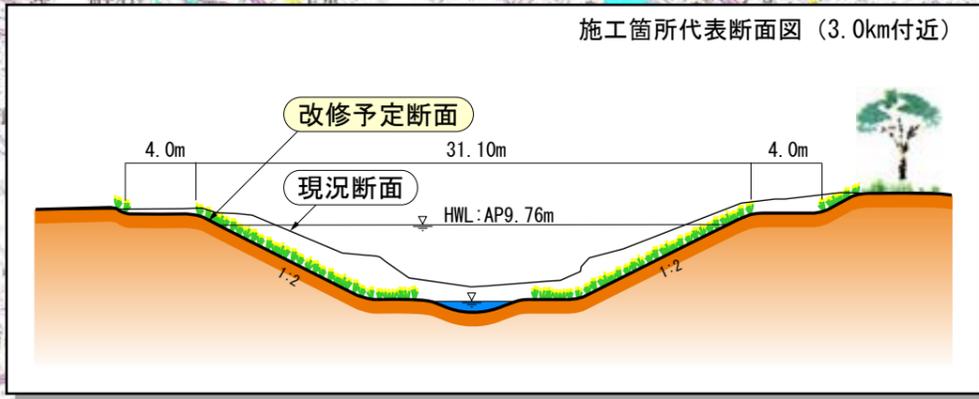
②青毛堀川8.5km付近



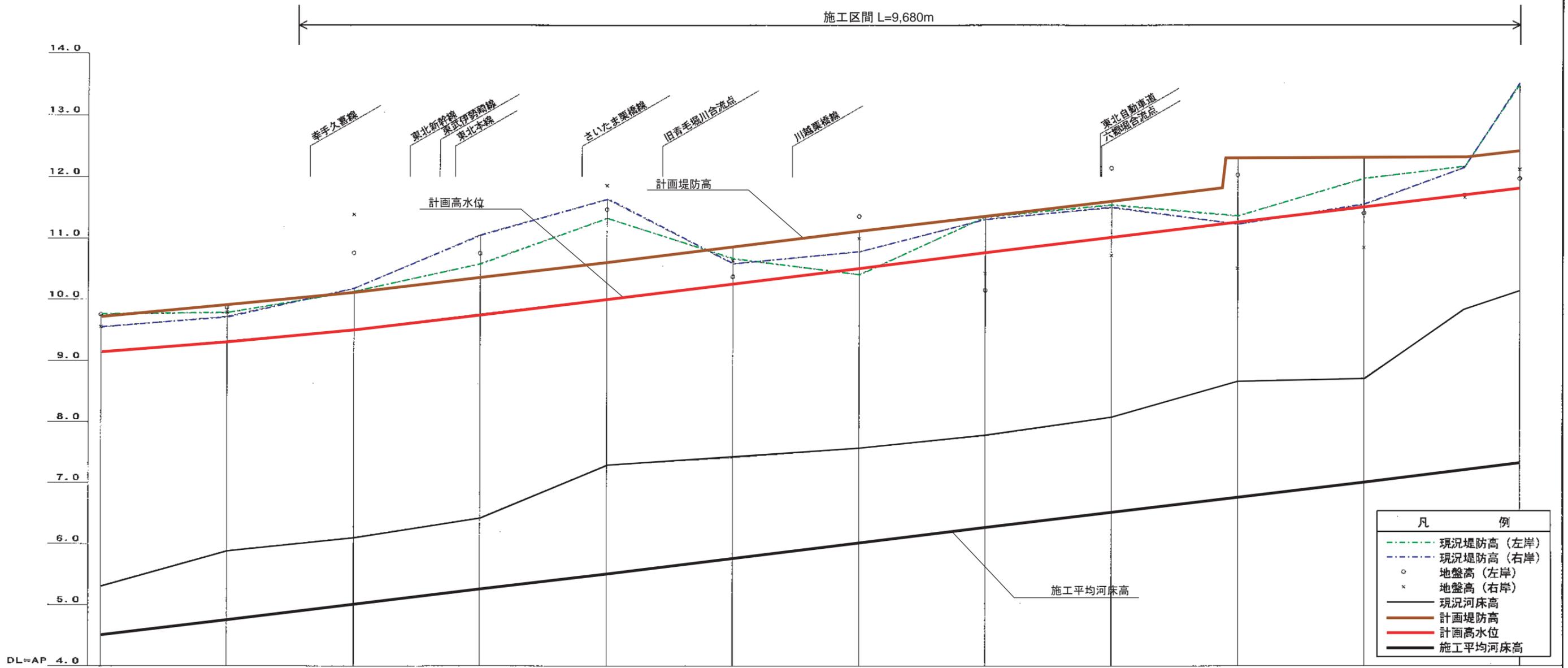
青毛堀川整備平面図
S=1/50,000



施工箇所代表断面図 (3.0km付近)



青毛堀川計画縦断面図



追加距離	水面勾配		河床勾配		堤防高		高水位		施工平均河床高	
	1/5,400		1/4,000		1/4,000	1/4,000	1/4,000	1/4,000	1/4,000	
0.000k					9.73	9.13	4.51			
1.000k					9.92	9.32	4.76			
1.900k					10.08	9.48	5.01			
2.000k					10.11	9.51				
3.000k					10.36	9.76	5.26			
4.000k					10.61	10.01	5.51			
5.000k					10.86	10.26	5.76			
6.000k					11.11	10.51	6.01			
7.000k					11.36	10.76	6.26			
8.000k					11.61	11.01	6.51			
8.888k					12.87	11.26	6.76			
9.000k					12.31	11.26				
10.000k					12.31	11.51	7.01			
10.800k					12.31					
11.238k					12.42	11.62	7.32			

くらまつがわ

流域面積 32.10km²
 流路延長 13,800km
 合流河川 中川
 現況河床勾配 1/4,000
 関係市町村 鷺宮町、幸手市、杉戸町、春日部市

流域および河川の概要

- 倉松川は、埼玉県鷺宮町にその源を発し、中川44.0km付近の右岸に合流する一級河川である。
- 流域は中川と大落古利根川的作用による自然堤防とその後背湿地が大部分を占め、古くから洪水の度に被害に見舞われている。
- 平成14年には、首都圏外郭放水路が江戸川～倉松川間で試験通水（ポンプ：100m³/s暫定完成）を開始している。

治水計画

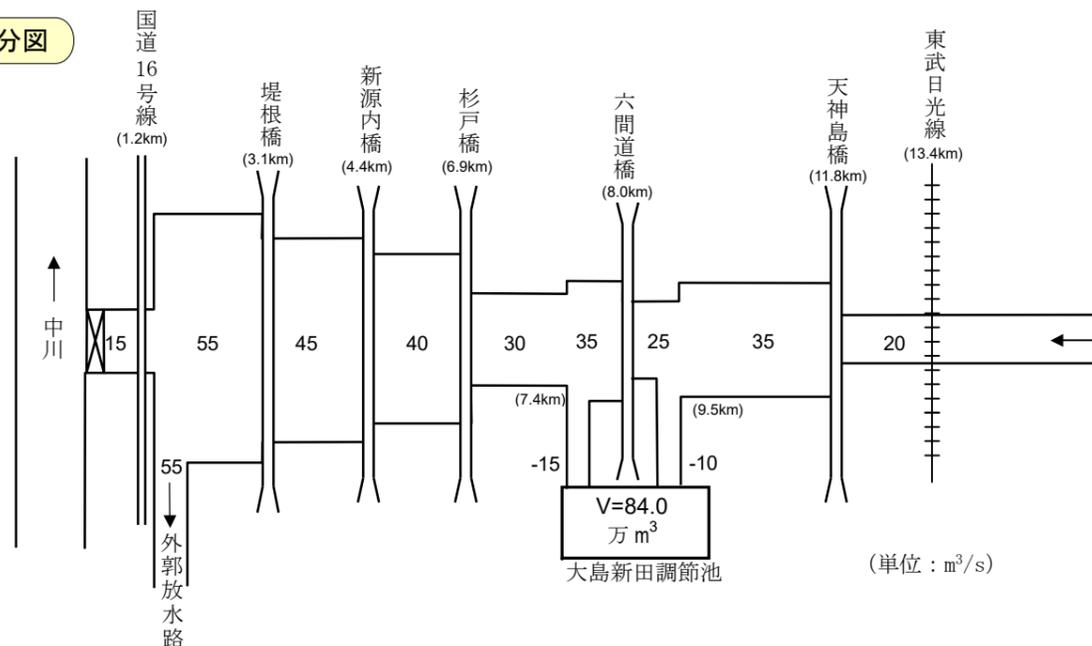
- 倉松川では、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
- ＜整備予定区間＞
- | | |
|------------------------------------|---------|
| (中川合流点0.00km)～(国道16号1.20km) | A |
| (久太郎橋下流2.25km)～(久太郎橋上流2.30km) | B |
| (倉松橋下流2.80km)～(桑崎橋上流3.40km) | C |
| (鷹匠橋5.40km)～(水管橋上流6.95km) | D |
| (大島新田調節池越流堤下流7.45km)～(留八橋上流7.70km) | E |
| (長八橋下流8.56km)～(金附田橋上流9.00km) | F |
| (天神島橋11.80km)～(上流端13.80km) | G |



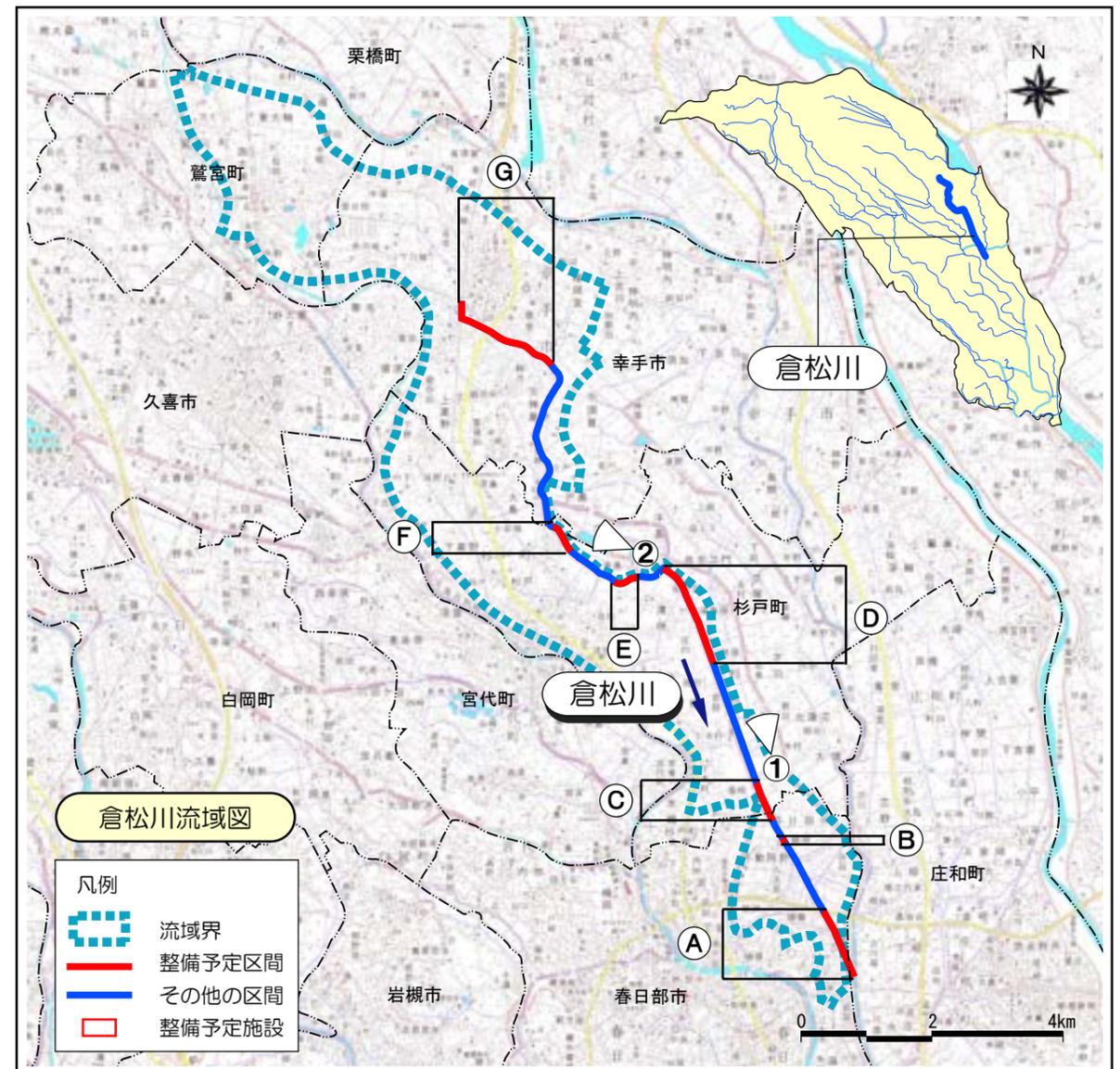
整備上の留意点

- 護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- 河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- 倉松川の水辺には埼玉県のレッドデータブックに記載されているナガボノシロワレモコウといった生育がみられる地域があるので、整備にあたっては十分配慮する。

流量配分図



倉松川・整備計画概要



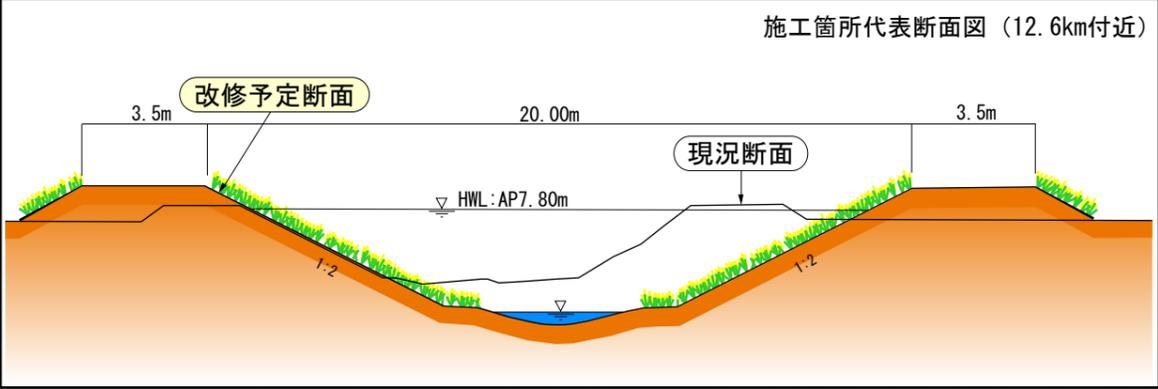
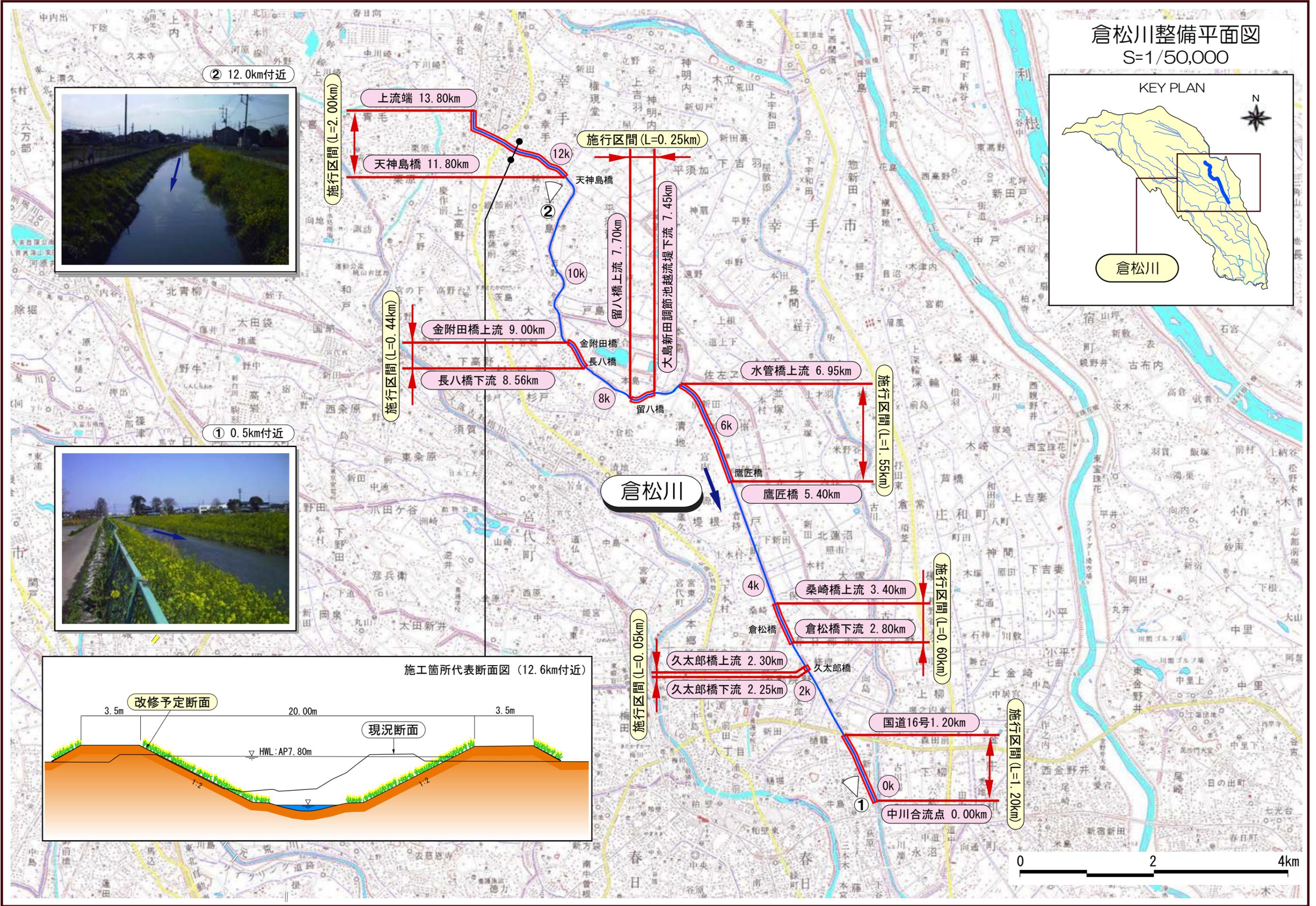
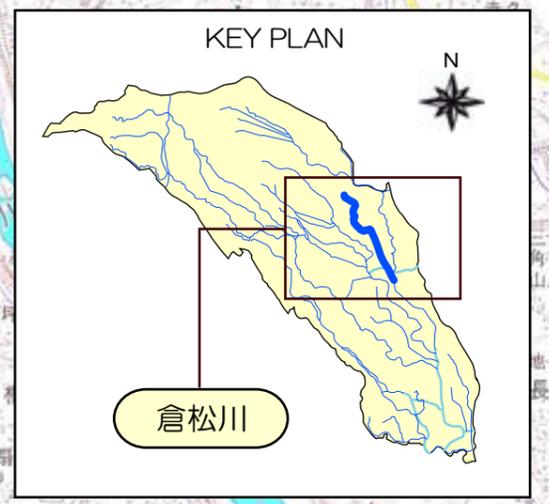
①倉松川3km付近



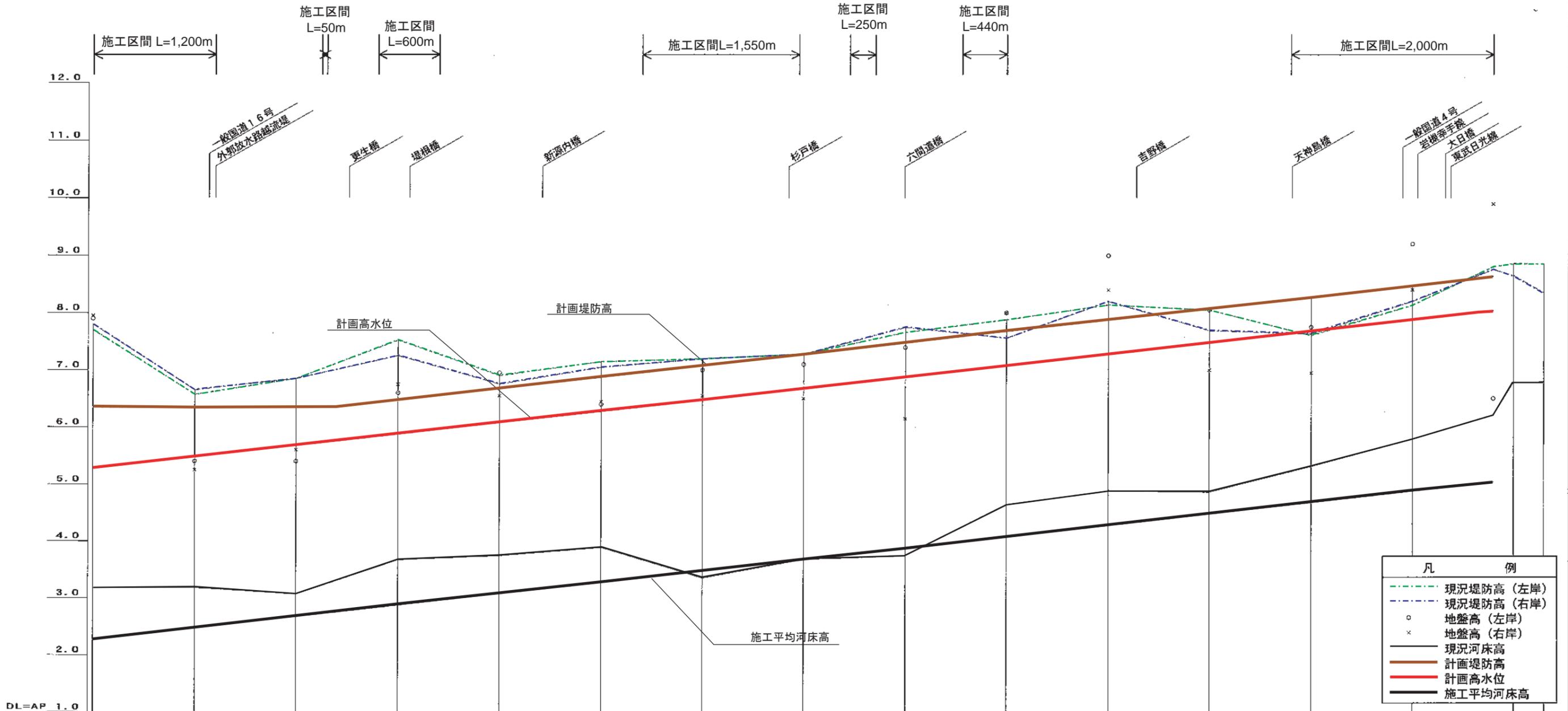
②倉松川8km付近



倉松川整備平面図
S=1/50,000



倉松川計画縦断図



DL=AP 1.0

計 面	水面勾配	1/5,000														
	河床勾配	1/5,000														
	堤防高	6.35	6.35	6.35	6.48	6.68	6.88	7.08	7.28	7.48	7.68	7.88	8.08	8.28	8.48	8.64
	高水位	5.28	5.48	5.68	5.88	6.08	6.28	6.48	6.68	6.88	7.08	7.28	7.48	7.68	7.88	8.04
	施工平均河床高	2.28	2.48	2.68	2.88	3.08	3.28	3.48	3.68	3.88	4.08	4.28	4.48	4.68	4.88	5.04
追加距離	0.000k	1.000k	2.000k	3.000k	4.000k	5.000k	6.000k	7.000k	8.000k	9.000k	10.000k	11.000k	12.000k	13.000k	13.800k	

うまのほりがわ

午の堀川・整備計画概要

流域面積 15.11 km²
 流路延長 7.400 km
 合流河川 中川
 現況河床勾配 1/2,000
 関係市町村 羽生市、加須市、大利根町

流域および河川の概要

- 午の堀川は、埼玉県羽生市にその源を発し、中川70.3km付近の右岸に流入する一級河川である。
- 流域は、手子堀川と中川の支川である会の川に挟まれた、紡錘形状をしており、上・下流部の広さが1.0km、中流部が2km程度となっており、流域の大半が沖積低平地で占められている。流向は本川中川にほぼ平行して流れ、地勢は緩く東南に傾斜し、平均地勢勾配は約1/2,000程度である。
- 流域は2市1町により構成され、流域の大半は低平地な水田として利用されている。

治水計画

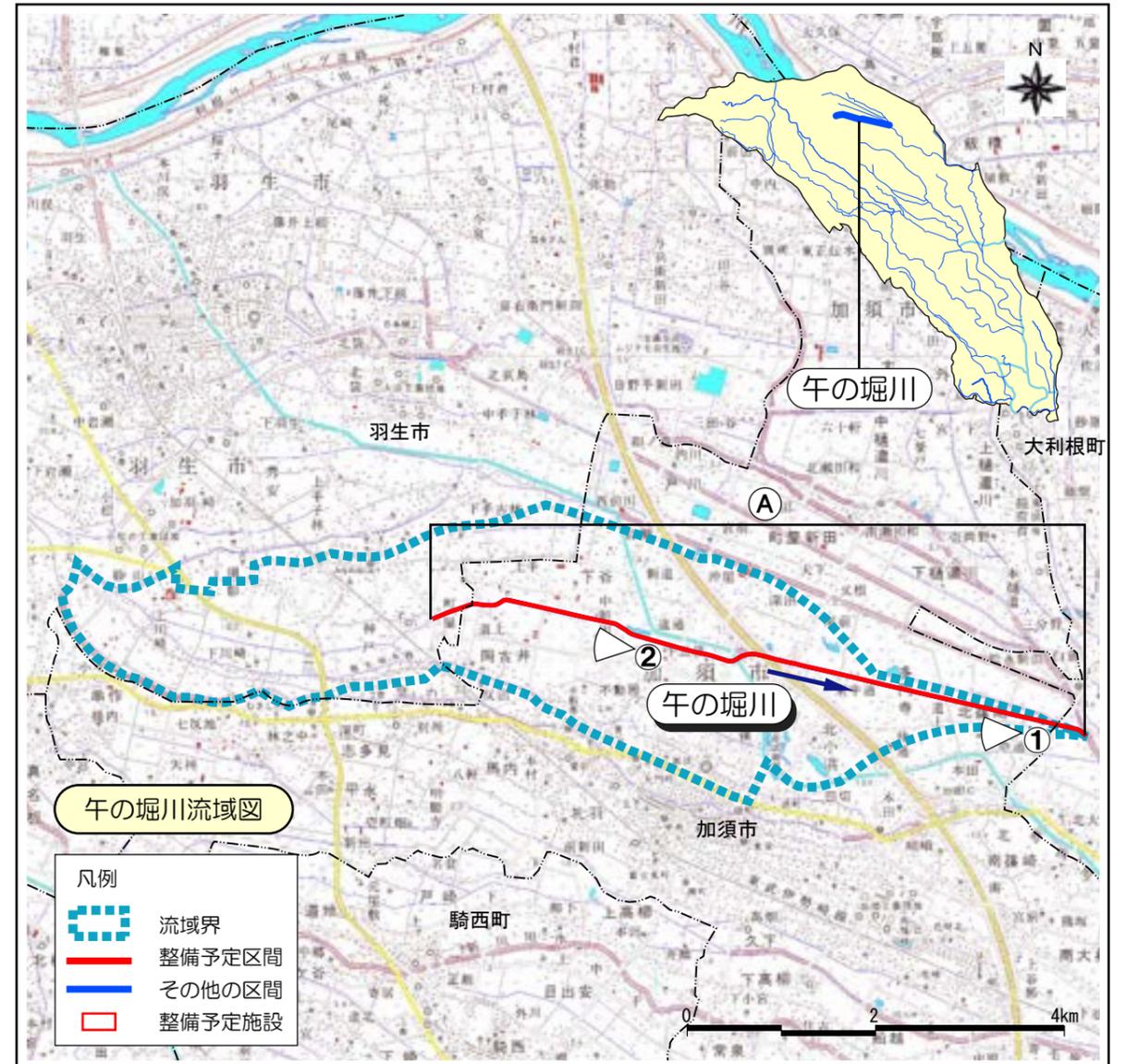
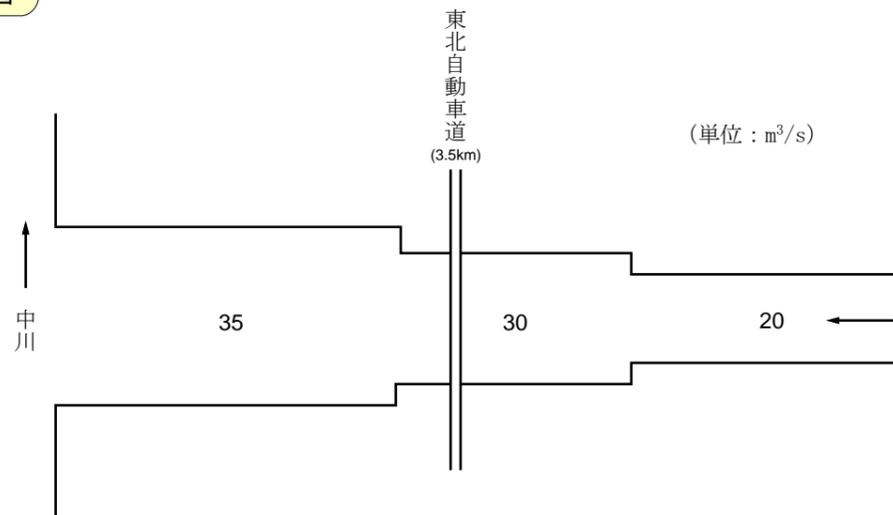
- 午の堀川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (中川合流点0.00km) ~ (上流端7.40km) A



整備上の留意点

- 護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- 河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。

流量配分図



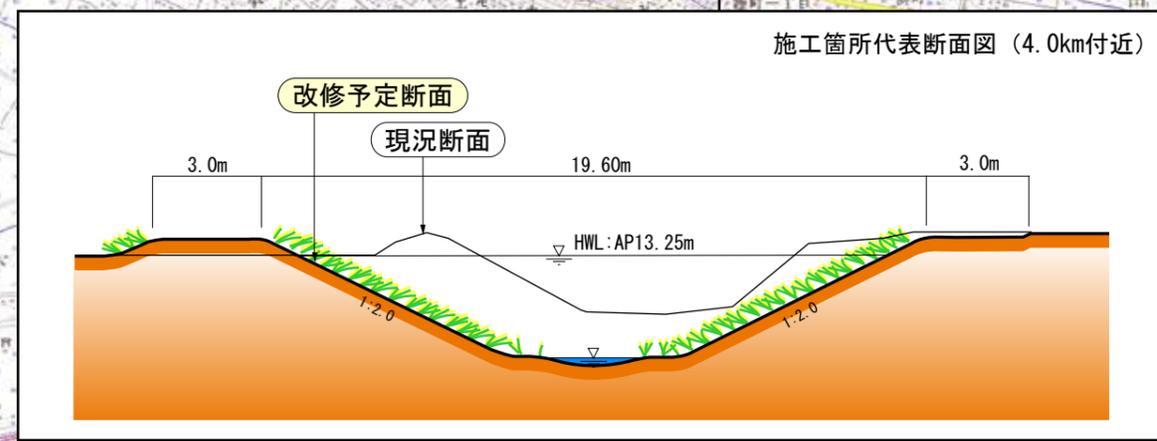
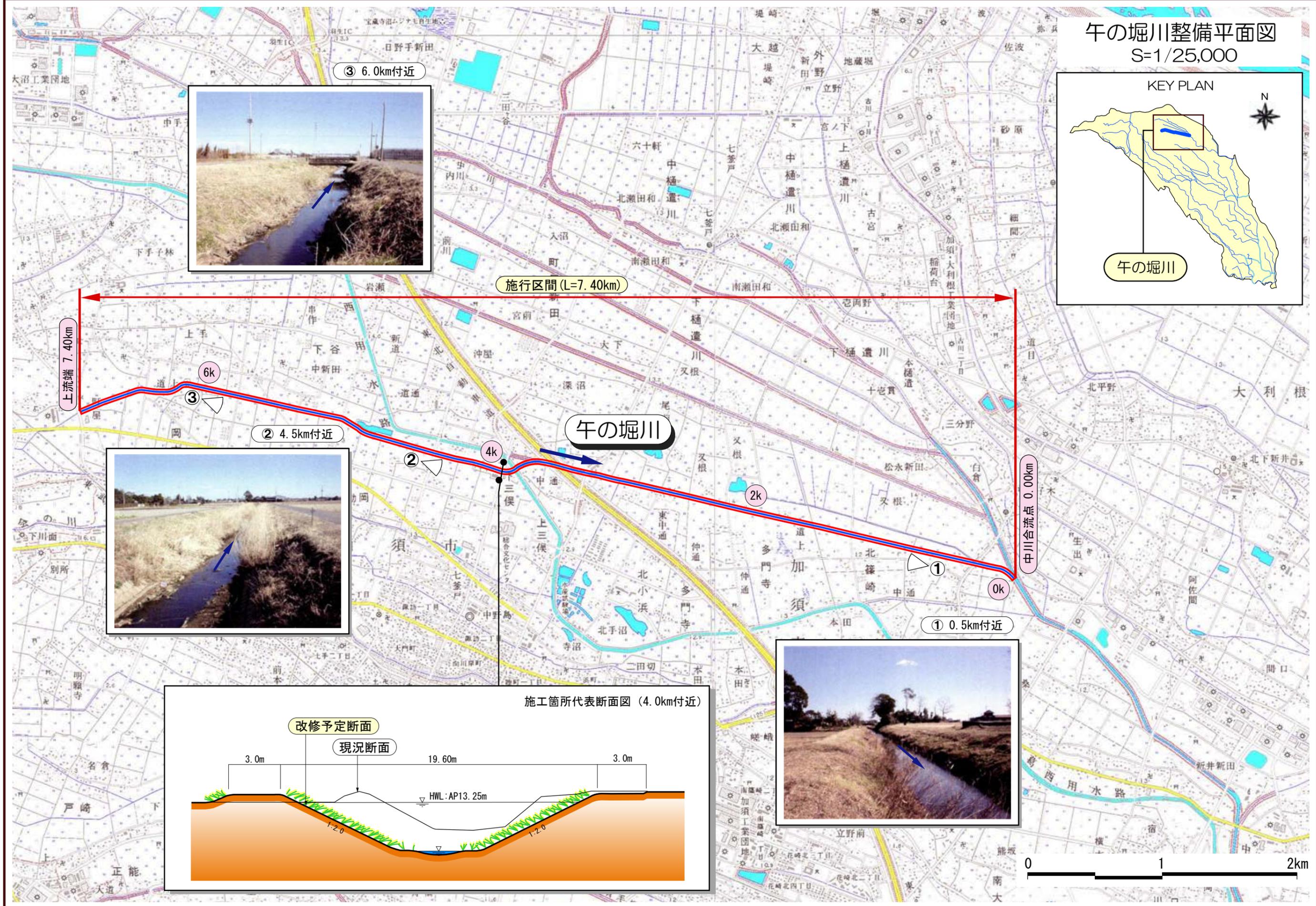
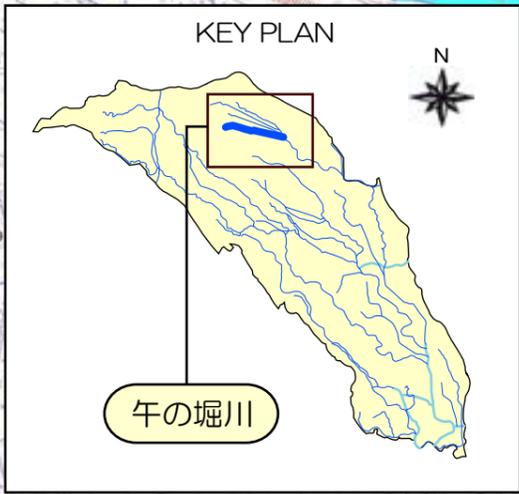
①午の堀川1km付近



②午の堀川5km付近

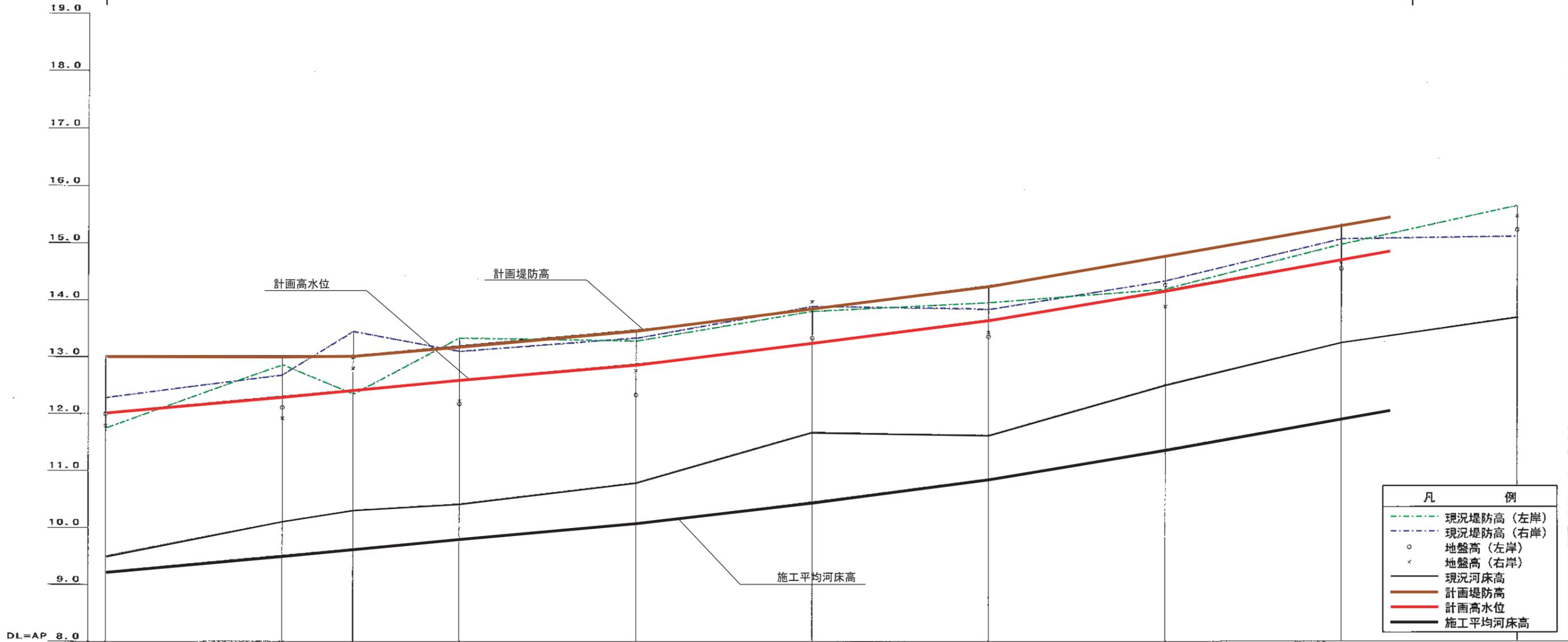


午の堀川整備平面図
S=1/25,000



午の堀川計画縦断面図

施工区間 L=7,400m



計 画	水面勾配	1/3,500		1/2,500		1/1,800							
	河床勾配	1/3,500		1/2,500		1/1,800							
	堤防高	13.02	13.02	13.02	13.19	13.48	13.55	13.85	14.25	14.31	14.78	15.34	15.46
	高水位	12.02	12.31	12.42	12.59	12.88	12.95	13.25	13.65	13.71	14.18	14.74	14.86
	施工平均河床高	9.22	9.51	9.62	9.79	10.08	10.15	10.45	10.85	10.91	11.38	11.94	12.05
追加距離	0.000k	1.000k	1.400k	2.000k	3.000k	3.237k	4.000k	5.000k	5.150k	6.000k	7.000k	7.273k	

流域面積 6.61km²
 流路延長 6.400km
 合流河川 中川
 現況河床勾配 1/2,000
 関係市町村 羽生市、加須市

流域および河川の概要

- 手子堀川は、埼玉県羽生市にその源を発し、中川70.9km付近の右岸に流入する一級河川である。
- 流域は中川と午の堀川に挟まれた細長い形状をしており、大半が沖積低地で占められ、多くが水田として利用されている。

治水計画

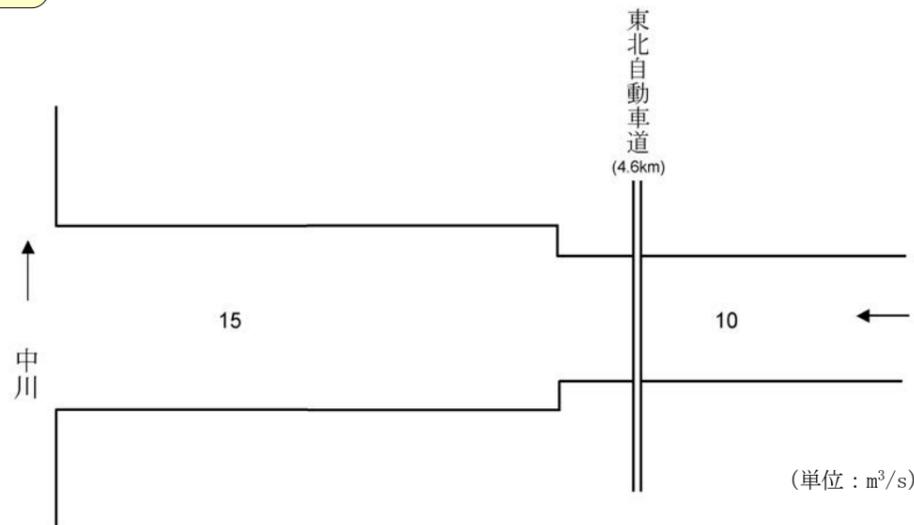
- 手子堀川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (中川合流点0.00km) ~ (上流端6.40km) A



整備上の留意点

- 護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努めるほか、人々が自然とふれあい、環境と共生できる良好な水辺空間の確保に努める。
- 河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- 落差工の設置にあたっては、魚類等の移動を妨げない構造とするよう努める。

流量配分図



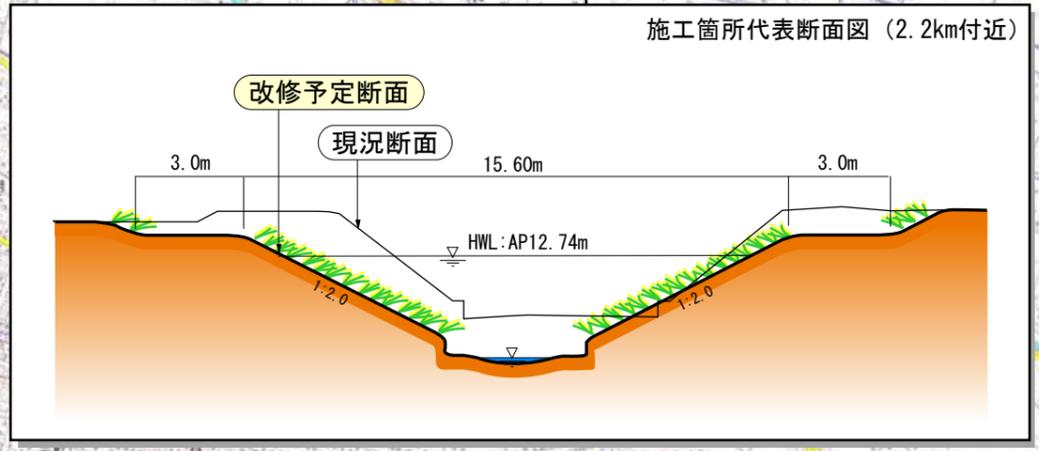
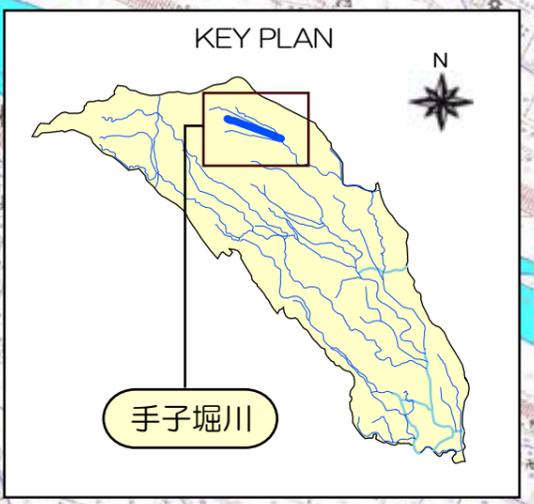
①手子堀川2km付近



②手子堀川4km付近

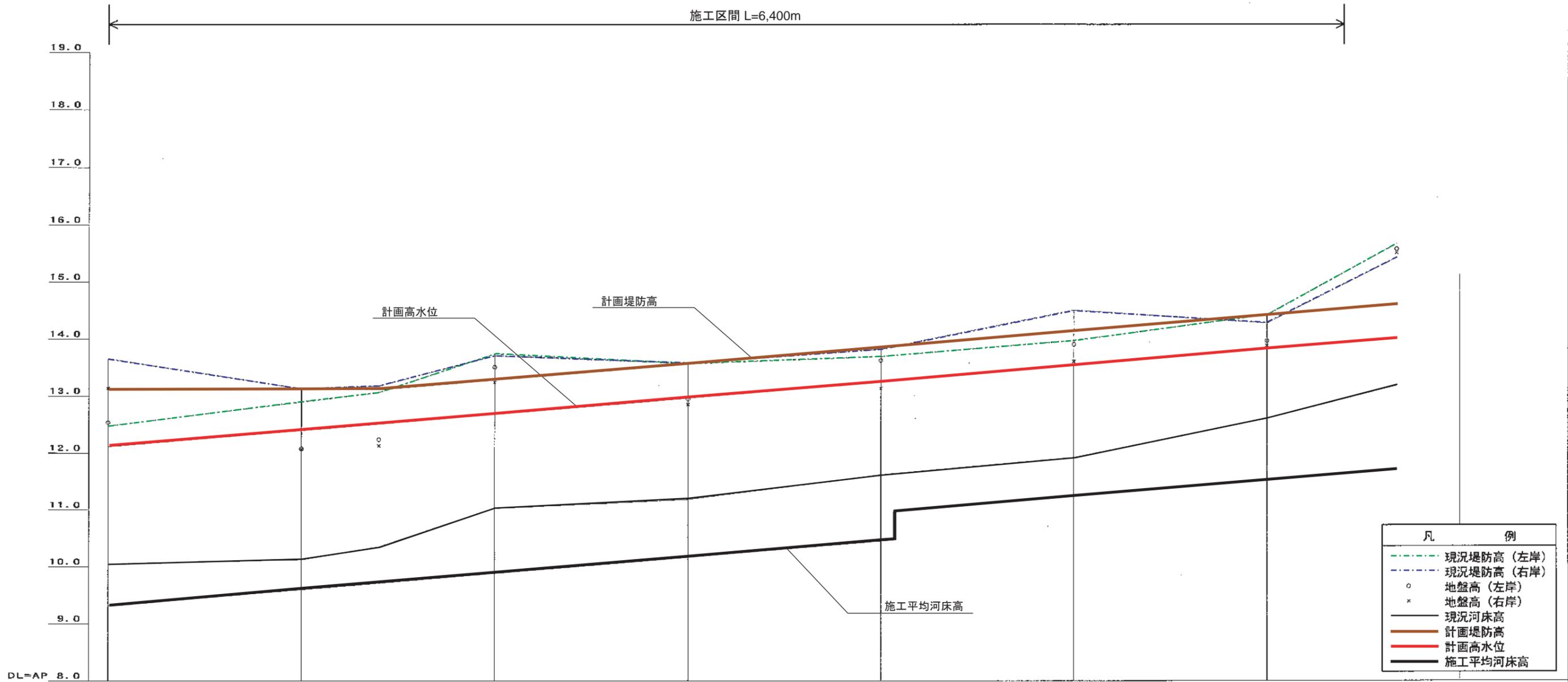


手子堀川整備平面図
S=1/25,000



手子堀川計画縦断面図

施工区間 L=6,400m



追加距離	計画										
	施工平均河床高	高水位	堤防高	河床勾配	水面勾配						
0.000k	9.32	12.12	13.12			1/3,500					
1.000k	9.60	12.40	13.12			1/3,500					
1.400k			13.12								
2.000k	9.89	12.69	13.29								
3.000k	10.17	12.97	13.57								
4.000k	10.45	13.26	13.86								
4.056k	10.48 (10.98)	13.28	13.88								
5.000k	11.25	13.55	14.15								
6.000k	11.53	13.83	14.43								
6.673k	11.72	14.02	14.62								
7.000k	11.82	14.12	14.72								

しんさいかちほりがわ

新槐堀川・整備計画概要

流域面積 24.30km²
 流路延長 6.300km
 合流河川 中川
 現況河床勾配 1/4,000
 関係市町村 羽生市、加須市

流域および河川の概要

- 新槐堀川は、埼玉県羽生市にその源を発し、途中旧槐堀川を合流し、中川71.5km付近の右岸に合流する一級河川である。
- 流域は利根川と本川に挟まれた長方形をしており、大半が沖積低地で占められ、多くが水田として利用されている。

治水計画

- 新槐堀川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (中川合流点0.00km) ~ (上流端6.30km) A

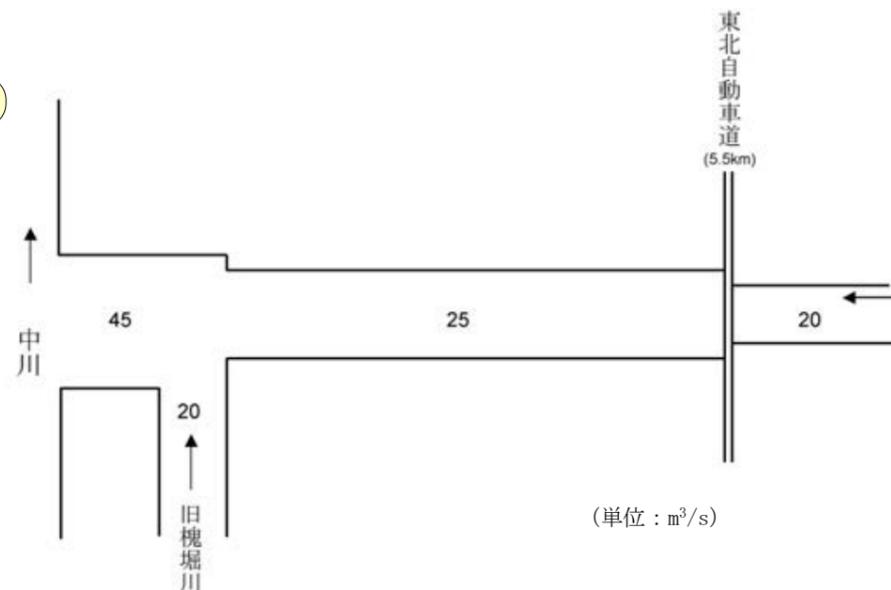


整備上の留意点

- 護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- 河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。



流量配分図



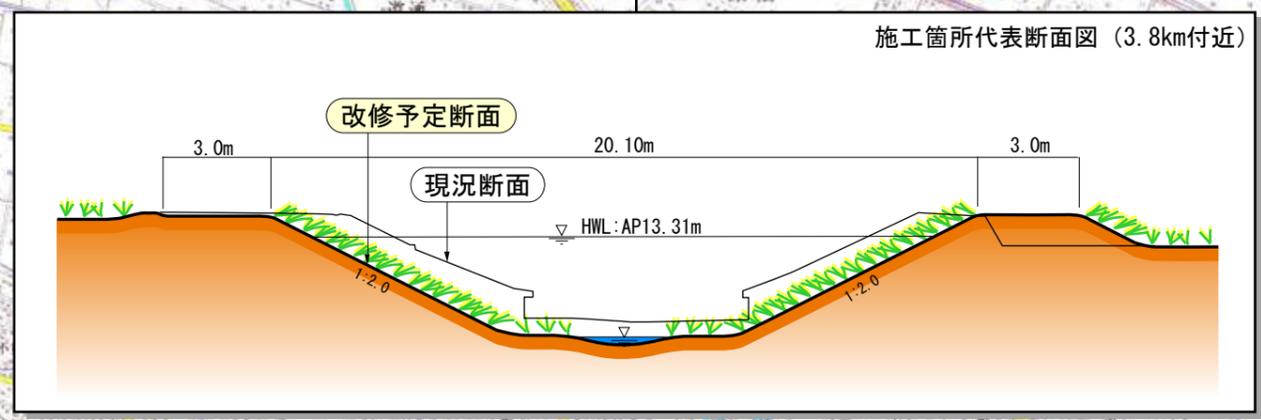
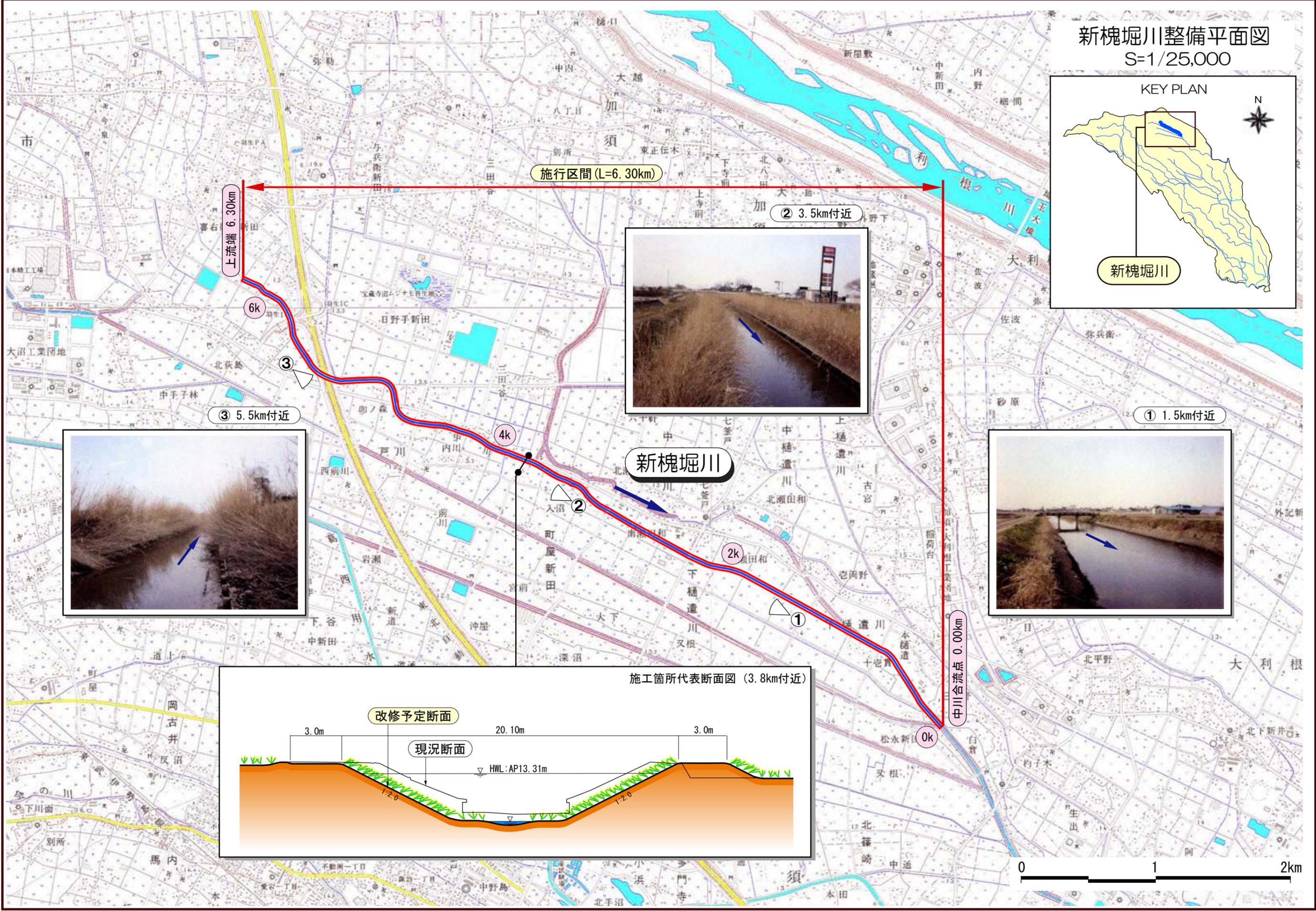
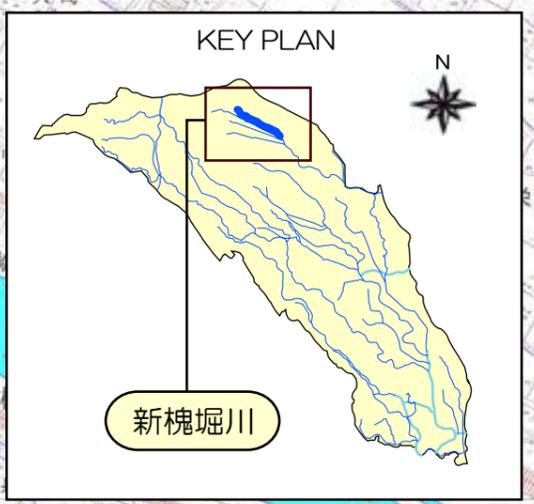
①新槐堀川1km付近



②新槐堀川4km付近

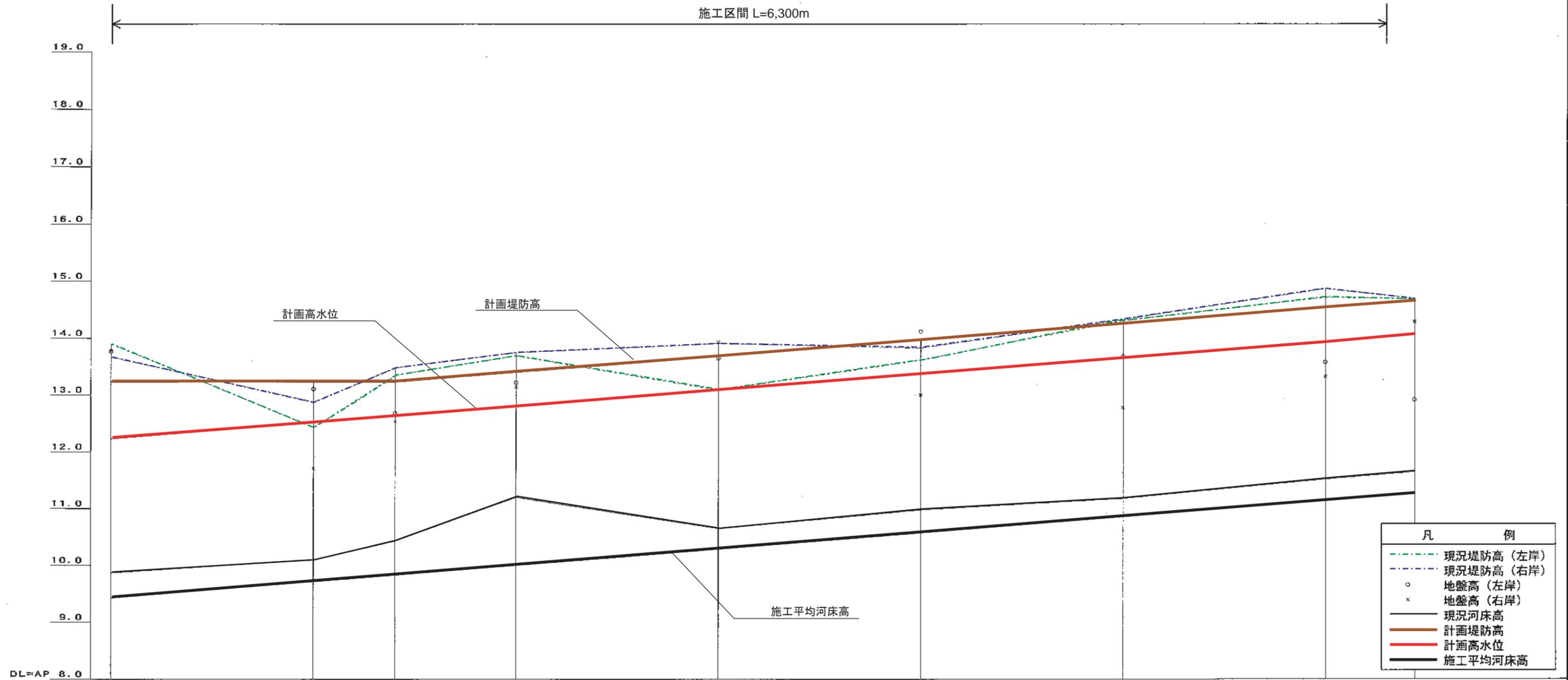


新槐堀川整備平面図
S=1/25,000



新槐堀川計画縦断面図

施工区間 L=6,300m



- | 凡 例 | |
|---------|------------|
| ---○--- | 現況堤防高 (左岸) |
| ---x--- | 現況堤防高 (右岸) |
| ○ | 地盤高 (左岸) |
| x | 地盤高 (右岸) |
| — | 現況河床高 |
| — | 計画堤防高 |
| — | 計画高水位 |
| — | 施工平均河床高 |

DL=AP 8.0

計 画	水面勾配		河床勾配		堤防高		高水位		施工平均河床高	
	左岸	右岸	左岸	右岸	左岸	右岸	左岸	右岸	左岸	右岸
追加距離	1/3,500									
0.000k	12.23	13.23	9.43	12.23	13.23	13.23	12.23	12.23	9.43	12.23
1.000k	12.52	13.23	9.72	12.52	13.23	13.23	12.52	12.52	9.72	12.52
1.400k	12.63	13.23	9.83	12.63	13.23	13.23	12.63	12.63	9.83	12.63
2.000k	12.80	13.40	10.00	12.80	13.40	13.40	12.80	12.80	10.00	12.80
3.000k	13.09	13.69	10.29	13.09	13.69	13.69	13.09	13.09	10.29	13.09
4.000k	13.38	13.98	10.58	13.38	13.98	13.98	13.38	13.38	10.58	13.38
5.000k	13.66	14.26	10.86	13.66	14.26	14.26	13.66	13.66	10.86	13.66
6.000k	13.95	14.55	11.15	13.95	14.55	14.55	13.95	13.95	11.15	13.95
6.442k	14.07	14.67	11.27	14.07	14.67	14.67	14.07	14.07	11.27	14.07